

取扱説明書 (設置・接続・準備)

LED LCD TV

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ

このたびはLGデジタル液晶テレビをお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

23MT55J

目次

2 目次

4 準備の流れ

5 設置する

- 5 付属品を確認する
- 6 別売アクセサリ
- 7 各部の名称
- 8 持ち運びのご注意
- 8 テレビを設置する
 - 8 スタンドを取り付ける
- 10 テレビ台やテーブルに設置する
- 12 壁に取り付ける

13 接続する

- 13 アンテナを接続する
- 18 B-CASカードを入れる
- 19 外部機器を接続する
- 20 BD・DVD プレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する
- 23 PCを接続する
- 26 USB機器を接続する
- 28 ヘッドホンの接続

29 操作する

- 29 標準リモコンの機能
- 31 はじめてテレビを起動したとき
- 32 ホームダッシュボードを使う
- 34 テレビを見る
 - 34 標準リモコンで操作する（基本的な選びかた）
- 35 番組表を表示する
- 36 録画する・予約する
 - 36 視聴中の番組を録画する
 - 37 録画予約する
 - 37 視聴予約をする
- 38 操作ガイドを使う
- 39 ネットワークに接続する
- 41 SmartShare™（スマートシェア）を使用する
- 42 Media Link（メディアリンク）を利用する
- 44 Wi-Fi Screen Shareを使用する

- 44 WiDi（Wireless Display）を使用する
- 45 本機のソフトウェアアップデートについて

46 困ったとき

- 46 故障かな？と思ったら
- 49 エラーメッセージ

53 その他

- 53 使用上のご注意
- 56 デジタル放送について
- 61 仕様
- 62 登録商標
- 63 オープンソースソフトウェアの通知
- 64 保証とアフターサービス

ヒント

- この取扱説明書で使用されている画面の図は機種や使用環境により実際の画面とは異なることがあります。
- メニューやオプションの項目は機種や外部入力によって異なることがあります。
- 利用できるサービス内容や画面は、予告なく変更または追加となる場合があります。

本書では、設置・接続・準備の説明を記載しています。

本機のさまざまな機能については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。ホームダッシュボード*から**操作ガイド**を選べると、テレビで説明を見ることができます。「操作ガイド」について詳しくは、「操作ガイドを使う」(38ページ)をご覧ください。

*ホームダッシュボードはリモコンの**ホーム**ボタンを押すと表示されます。



操作ガイドの目次

テレビを見る

- リモコンを操作する
- 番組名などを表示する(チャンネルバー表示)
- 番組表を表示する
- 外部入力を切り換える
- SIMPLINK(シンプリリンク)を使って外部機器を操作する
- データ放送を見る
- 映像のジャンルに合わせて画質・音質を選ぶ
- 音声を切り換える

映像と音声の設定

- 映像を設定する
 - 映像省エネ設定
 - 映像モード
 - 画面サイズ
 - ピクチャーウィザード
 - PCモニター設定
- 音声を設定する
 - サウンドモード
 - 音量設定
 - 設置ポジション設定
 - バーチャルサラウンド
 - クリアボイス II
 - AVシンク
 - 音声設定

詳細設定

- チャンネル設定をする
 - チャンネルスキャン
 - チャンネル登録
 - チャンネル編集
 - アンテナ設定
 - B-CAS 情報確認
- 時刻やタイマーを設定する
 - 時刻設定
 - オフ/オンタイマー
 - スリープタイマー
- 暗証番号と視聴制限の設定をする
 - 暗証番号設定
 - 視聴制限設定
- 機器設定をする
 - 郵便番号設定
 - メッセージ
 - 機器省エネ設定
 - USBハードディスク
 - 地域設定
 - 字幕設定
 - インジケータ設定
 - ポインター設定
 - ヒントの表示
 - 初期化
 - デュアルプレイ
 - モード設定
 - SmartTV設定
- ネットワークを設定する
 - ネットワーク接続
 - ネットワーク状態

- WiFi Screen Share
- SmartShare™設定
- サポート機能を使う
- ソフトウェアダウンロード
- 映像/音声テスト
- 受信機情報/サービス案内
- プレミアムコンテンツの初期化
- 操作ガイド

SmartTV機能を使用する

- SmartTVを楽しむ
- SmartShare™を使用する
- DLNAを接続する
- Media Link(メディアリンク)を使用する
- プレミアムコンテンツを利用する
- LG Smart World™を使用する
- 検索機能を使用する
- インターネットを使用する
- Social Centerを使用する

録画/予約をする

- 録画を準備する
- 見ている番組を録画する(ワンタッチ録画)
- 録画番組を見る

困ったとき

- 故障かな?と思ったら
- SmartTVのご利用についてのQ&A
- 使用上のご注意
- 用語の説明

「操作ガイド」の目次は予告なく変更または追加となる場合があります。

3D コンテンツはご利用いただけません。

準備の流れ

- 1 箱を開けて、付属品がそろっているか確認する。
- 2 スタンドを取り付ける。
- 3 電源とアンテナや外部機器をつなぐ。
- 4 リモコンを準備する。
- 5 ネットワークに接続する。

ネットワークに接続すると、Smart TVのさらに多くの楽しい機能を利用できます。

本機の操作について、詳しくはテレビ本体に実装されている「操作ガイド」を確認してください。

設置する

付属品を確認する

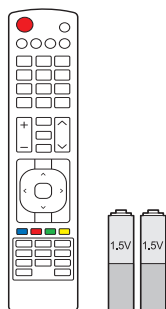
本機には次の付属品があります。お確かめください。

不足している物がありましたら、お近くの販売店または当社カスタマーサポートセンター(64ページ)にお問い合わせください。



注意

- 安全のためおよび本機の製品寿命を維持するため、推奨品以外は使用しないでください。
- 推奨品以外の使用により生じた損害・損傷は保証いたしかねます。



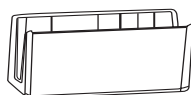
標準リモコン／
乾電池(2個、単4形)(29ページ)



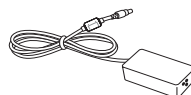
CD(取扱説明書)/カード



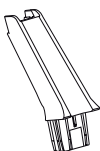
B-CASカード(18ページ)



アダプターカバー(10ページ)



AC/DCアダプター(10ページ)



スタンドボディー(8ページ)



スタンドベース(8ページ)



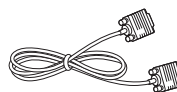
電源コード(10ページ)



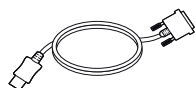
転倒防止バンド取付用ネジ
(1本、P4(長さ8mm))(9ページ)



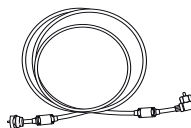
転倒防止バンド(1本)(9ページ)



RGBケーブル(25ページ)



HDMI-DVIケーブル(24ページ)



アンテナ線(14ページ)



ケーブルホルダー(11ページ)

別売アクセサリ

別売アクセサリは改良のため、予告なく変更されることがあります。その場合は販売店にご相談ください。
別売アクセサリは指定された機種にのみ使用できます。

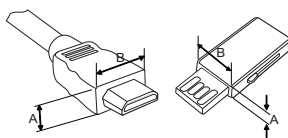


AN-WF100
無線LANアダプター

*別売アクセサリの機種名やデザインは変更されることがあります。

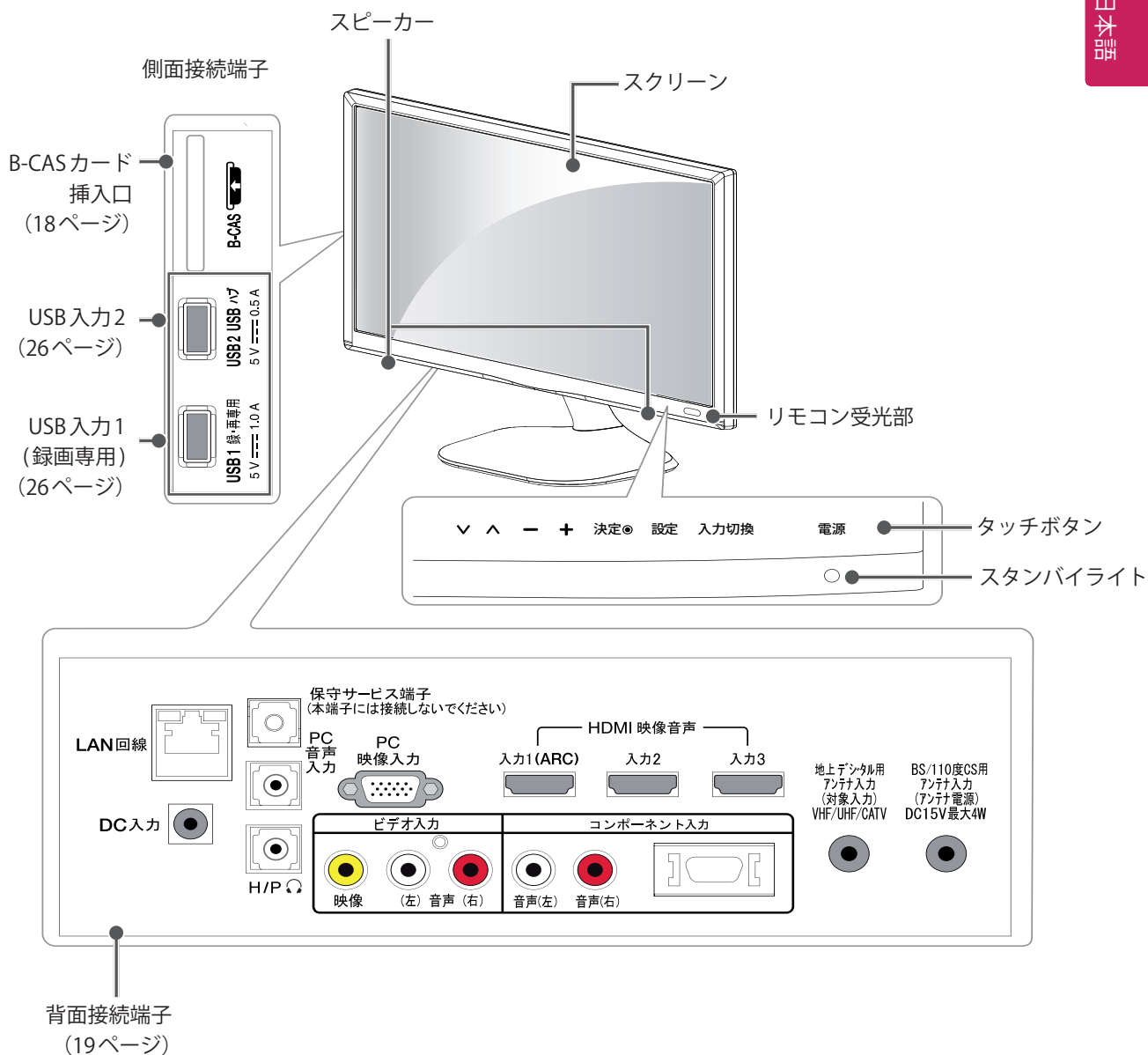
✓ ヒント

- HDMI ケーブルや USB 機器を確実に接続するために、下図の A 部分の厚さが 10mm 以下、B 部分の幅が 18mm 以下の製品をお使いください。
- USB ケーブルや USB メモリーが本機の接続端子に合わないときは、USB2.0 対応の延長ケーブルを使用してください。



A : 10mm 以下
B : 18mm 以下

各部の名称



タッチボタン	説明
▽ ▲	チャンネルを順番に選びます。
- +	音量を調節します。
決定◎	メニューから選択した項目を決定します。
設定	メニューを表示／終了します。
入力切換	入力を順番に切り換えます。
電源	電源を入／切します。

✓ ヒント

- 上記図はイメージです。各接続端子の位置は、機種により異なる場合があります。

持ち運びのご注意

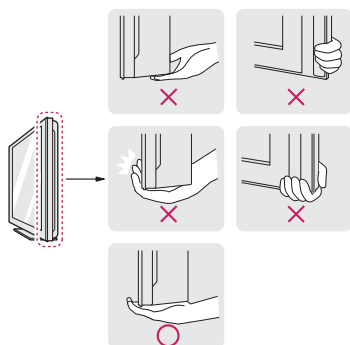
テレビを動かしたり持ち上げたりする際、以下に注意して、テレビに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

⚠ 注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷したりする場合があります。
- テレビの梱包に使用されていた箱などを使用してテレビを運ぶことをおすすめします。
- テレビを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- テレビを持つ場合、テレビの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。



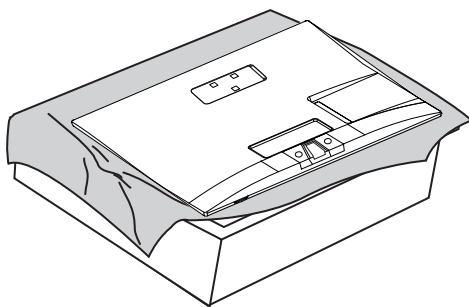
- テレビのフレームの上下をしっかりと持ってください。透明な部分やスピーカー、スピーカーグリルは持たないでください。



テレビを設置する

スタンドを取り付ける

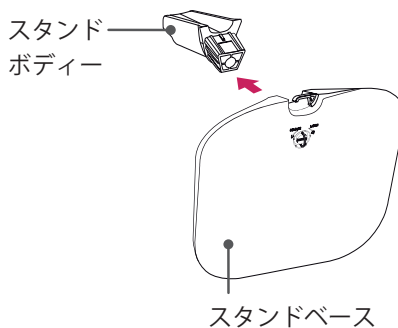
- 1 テレビ画面が下を向くようにして置きます。



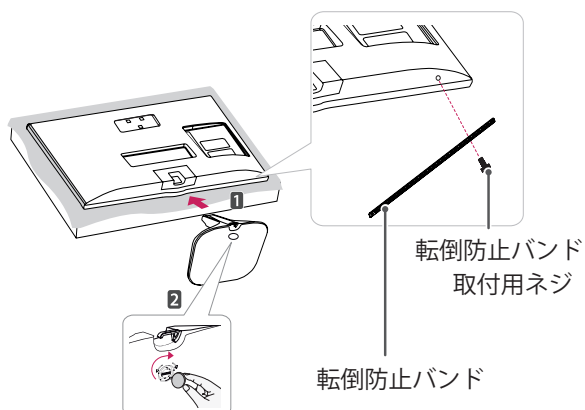
⚠ 注意

- スタンドを本機に取り付けるときは、本機の画面が傷つかないように、柔らかい布などを平らなテレビ台などに敷いて、画面を下に向けて置いてください。

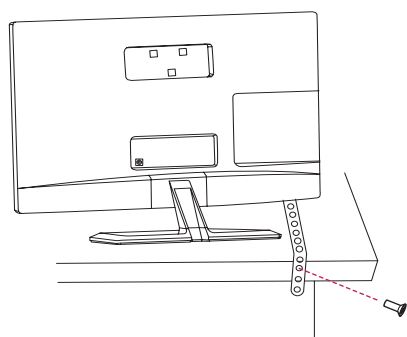
- 2 スタンドベースにスタンドボディーを取り付ける。



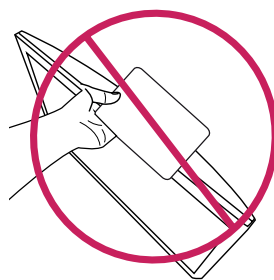
- 3** スタンドベースの底面に取り付け済みのネジを回して、スタンドベースをスタンドボディに取り付けます。スタンドを本機に取り付けます。転倒防止バンドを使用する場合は、付属のネジを利用して画面部の底面に下図のように取り付けます。



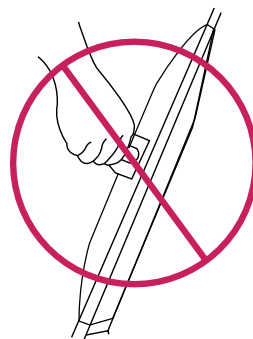
- 4** 市販のネジで転倒防止バンドをテレビ台に固定します。固定後は台を壁などに近づけて設置し、小さなお子様などがはいれないようにしてください。



⚠ 注意



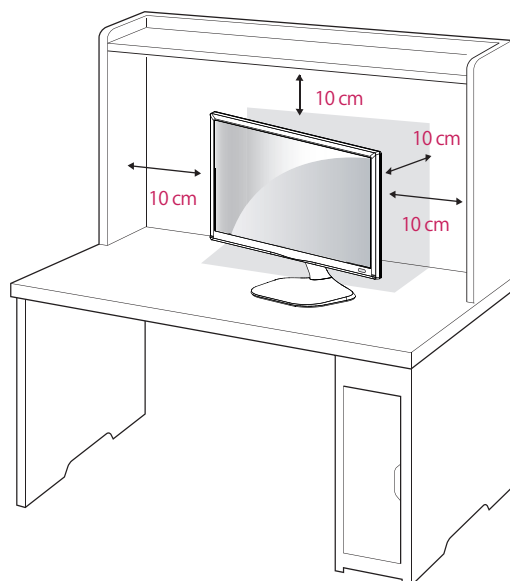
- 本機を持ち運ぶ際に、上図のように製品を逆さまにしてスタンドベースを持つなどして運んだりしないでください。製品が破損したり、けがをするおそれがあります。



- 本機を持ち運ぶ際に、上図のように製品を逆さまにしてスタンドボディを持つなどして運んだりしないでください。製品が破損したり、けがをするおそれがあります。

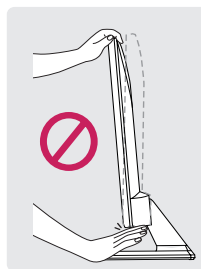
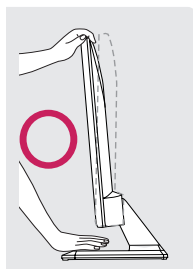
テレビ台やテーブルに設置する

- 1 本機を台の上に置く。
 - 傾斜のない、平らな安定した場所に設置してください。また、すべりやすい面やカーペットなどのやわらかい面、不安定な場所を避けて設置してください。



⚠ 注意

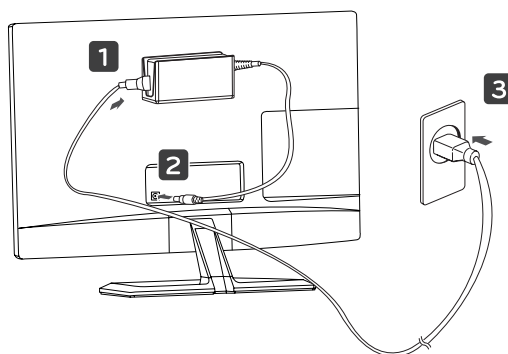
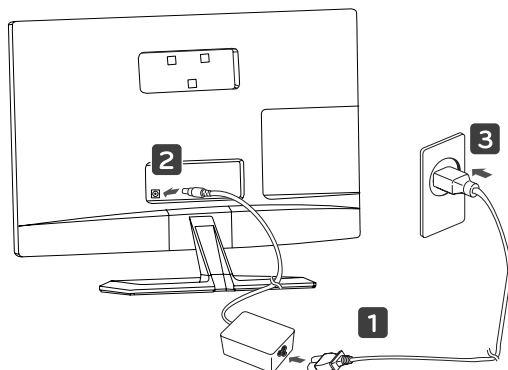
- 画面の角度を調整する際は、画面の下部に指がはさまらないようにご注意ください。



⚠ 注意

- 本機を運ぶ際は、電源コードを抜いてください。感電のおそれがあります。

- 2 電源コードをコンセントに接続します。付属のアダプターカバーを使用する場合は、下図のように本機の背面に取り付けます。

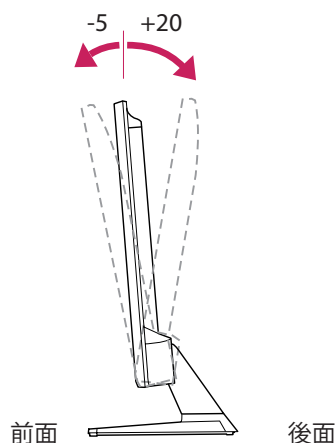


⚠ 注意

- 熱源のそばにテレビを置かないでください。火災の原因となることがあります。

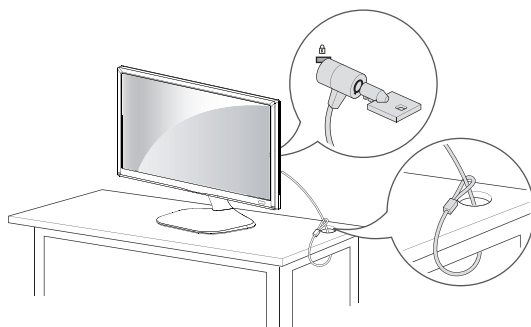
✓ ヒント

- 本機を見やすい角度に調整します（回転角度前面5度後面20度まで）。



ケンジントン (Kensington) ロック

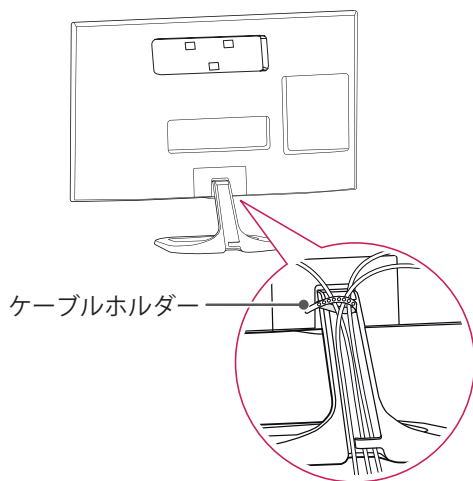
ケンジントンロックを利用することにより盗難防止に効果があります。



- *本機には背面にケンジントンロック装着用の穴があります。上図のようにつないでください。
- *ケンジントンロックの詳細内容はケンジントンロック用の金具に付属の取扱説明書を参照してください。
- *ケンジントンロック用の金具とケーブルは別売アクセサリです。

ケーブルをまとめる

付属のケーブルホルダーでケーブルをまとめます。



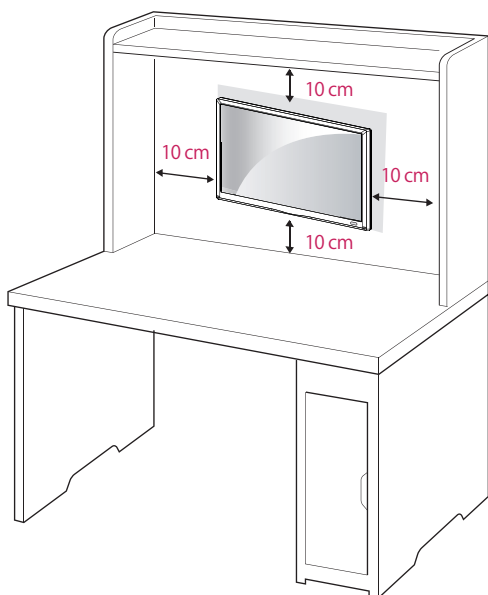
⚠ 注意

- テレビを移動させるときは、ケーブルホルダーをはずしてください。ケーブルホルダーが壊れたり、故障の原因になったりします。

壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、上下左右および壁より 10 cm 以上の空間を確保できる場所に設置してください。

詳細な設置方法については、別売の壁掛けブラケットに付属する取扱説明書をご参照ください。



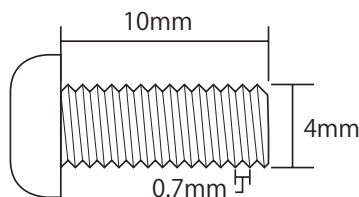
テレビを壁に取り付ける場合は、セットの背面に壁掛けブラケット（別売り）を取り付けます。壁掛けブラケットを使用して設置する場合は、本機を落とさないよう注意して取り付けてください。

1 本機の壁掛け用のネジ穴は下記の通りとなっています。

• 784.8 mm (30.9 インチ) 以下

* 壁掛けパッドの板厚：2.6 mm

* ネジ：M4(4.0 mm) x ピッチ 0.7 mm x 長さ 10 mm

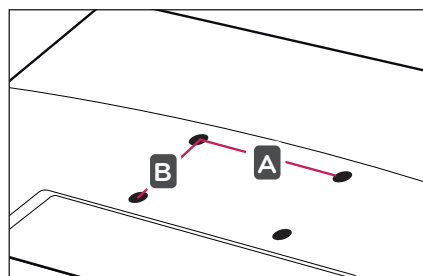


2 上記に適合しないネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。当社は、対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。

壁掛け設置については、販売店または工事専門業者にご相談ください。

取り付け穴の位置は下記の表のとおりです。

機種	23MT55J
ネジ穴の間隔 (A × B)	100 x 100
標準ネジ	M4 X L10
ネジの数	4
推奨壁掛け金具 (別売りアクセサリ)	RW120



モニター背面

⚠ 注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。外さずに移動したり設置したりしようとすると落下してケガをしたり感電する恐れがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大な怪我をする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は、壁掛け金具に付属するもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジは適合する長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外のブラケットを使用したり又ネジの締め過ぎ等による損傷は保証外となりますので注意してください。
- 取り付け不良が原因で製品が損傷、又は、落下した場合、弊社は一切の責任を負いません。

✓ ヒント

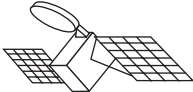
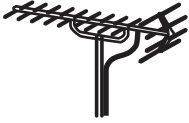
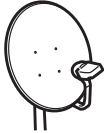
- 壁掛け用金具には、設置説明書と必要な部品が付属されています。
- 壁掛け用金具は別売品です。追加の付属品については、PC専門店や家電量販店などでご購入できます。
- ネジの長さは取り付けの壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛け用金具付属の設置マニュアルを参照してください。

接続する

アンテナを接続する

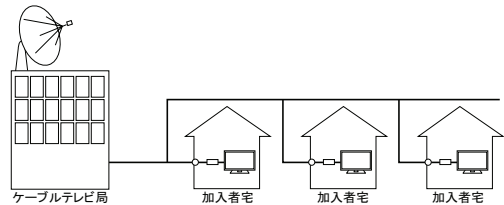
アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

放送の種類と必要なアンテナ

放送の種類	地上放送	衛星放送
	各地の放送局や中継局から放送電波が送られてきます。  地上デジタル放送	放送衛星から放送電波が送られてきます。日本国内の地域で同じ放送が受信できます。  BS デジタル放送 110度CS デジタル放送
必要なアンテナと注意	 UHF アンテナ 地上デジタル放送を受信するために、UHFアンテナの交換や方向調整などが必要になる場合があります。	 BS・110度CS 共用アンテナ BS アナログ放送用のBSアンテナではBS デジタル放送を受信できないことがあります。BS アンテナやスカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CS デジタル放送を受信することはできません。

ケーブルテレビ (CATV)

放送電波が1本のケーブルで加入者宅まで届けられるので、アンテナが不要です。



- 本機は地上デジタル放送の「CATVパススルー方式（全帯域）」に対応しています。ケーブルテレビ局が、放送局から送信される地上デジタル放送電波をパススルー方式で再送信していれば、本機で地上デジタル放送を見ることができます。
- ケーブルテレビ局がトランスモジュレーション方式で再送信しているBS・CS デジタル放送などを見るには、専用のホームターミナル (STBと呼ばれることがあります) が必要です。詳しくはケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

アンテナ接続の準備をする

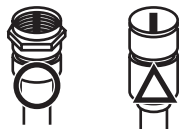
- アンテナや接続に必要なアンテナ線（同軸ケーブル）、混合器、分波器、分配器などは付属されておりません。

機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類（電波の種類）などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

- F型コネクタがネジ式のアンテナ線をおすすめします。

差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。

ネジ式の例 差込式の例



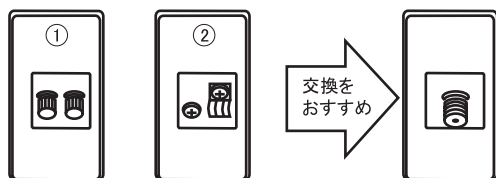
平行フィーダー線は受信障害の原因になることがあるので、使用しないでください。

平行フィーダー線

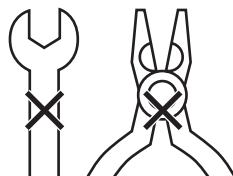


- 壁のアンテナ端子はネジ式の端子が突き出たタイプをおすすめします。

平行フィーダー用のアンテナ端子①や接続部分がむき出しのアンテナ端子②は、受信障害の原因になることがあります。交換については、電気店などにご相談ください。

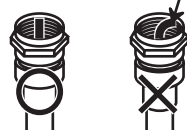


- アンテナ線のF型コネクタは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機内部が破損する恐れがあります。

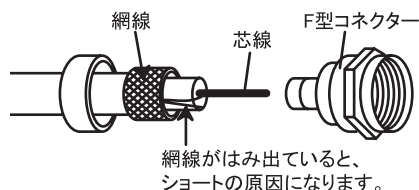


- F型コネクタのピンが曲がっていないか確認してください。曲がったまま接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。

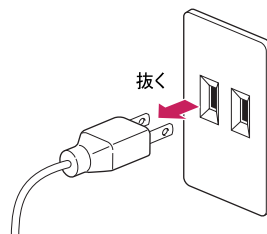
曲がっている



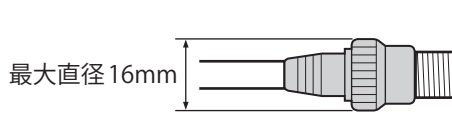
- 同軸ケーブルにF型コネクタを取付加工する場合は、芯線とアース線（網線）がショートしないようにしてください。



- アンテナを接続するときは必ず本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

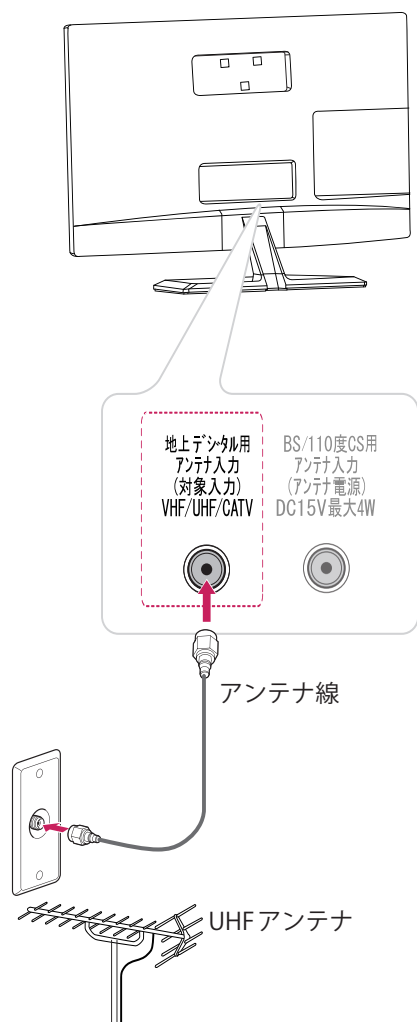


- アンテナケーブルの最大直径は、16mmまでのものをご使用ください。無理に差し込むと故障の原因になります。



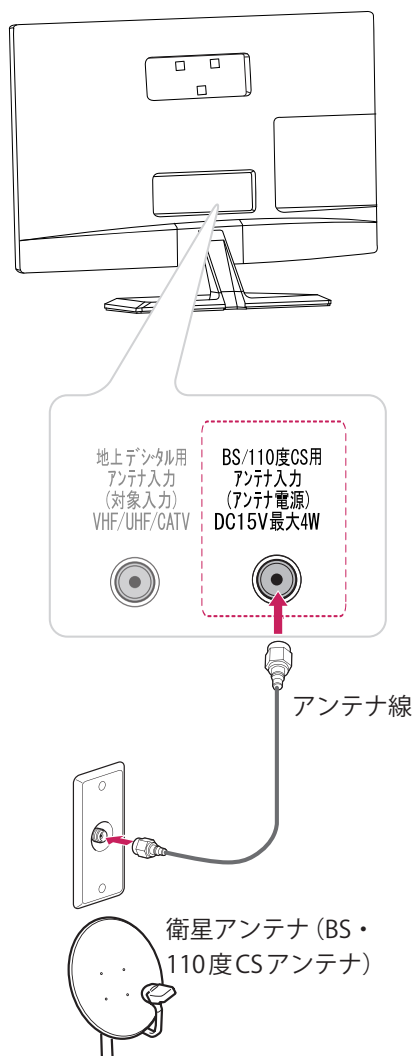
地上デジタル放送用アンテナをつなぐ

地上デジタル放送を見るためのアンテナは、これまで使用していた地上アナログ用のUHFアンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によってはアンテナの取り換えや方向の調整、増幅器（ブースター）の取り付けが必要となることがあります。詳しくはお買い上げ店にご相談ください。



衛星放送用アンテナをつなぐ (BS・110度CSアンテナ)

BS・110度CSデジタル放送を見るための、衛星アンテナの設置には技術が必要です。設置するときはお買い上げ店に設置を依頼されることをおすすめします。また、アンテナの取扱説明書もよくご覧ください。



✓ ヒント

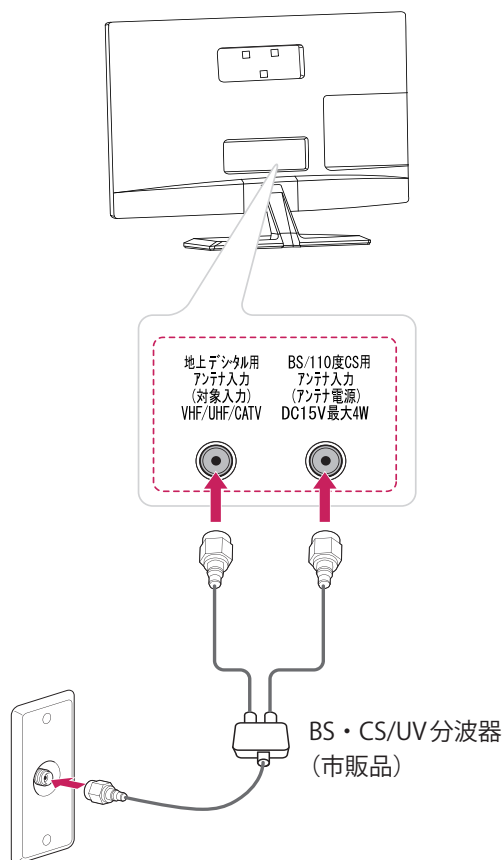
- アンテナ線には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。
- 室内アンテナの利用は妨害電波を受けやすいので、避けてください。
- アンテナ線に対して、電源コードや他の接続コード類をできる限り離してください。

✓ ヒント

- 衛星放送を他の機器と分配して視聴する場合、分配器は必ず電流通過型のものご使用ください。電流通過型でない場合は、アンテナに供給している機器の電源を切ると、他の機器で衛星放送が受信できなくなります。
- ブースターや分配器をご使用になる場合は、110度CS対応（周波数2,150MHz対応以上）であることをご確認の上、ご使用ください。
- 衛星放送の電波は微弱なため、受信するにはアンテナやテレビなどの正確な調整が必要です。天気が悪いときには電波が弱くなり、一時的に画面や音声が止まったりする場合があります。これは、気象条件によるもので、アンテナやテレビの故障ではありません。

マンションなどの共同受信システムにつなぐ

地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続してください。



✓ ヒント

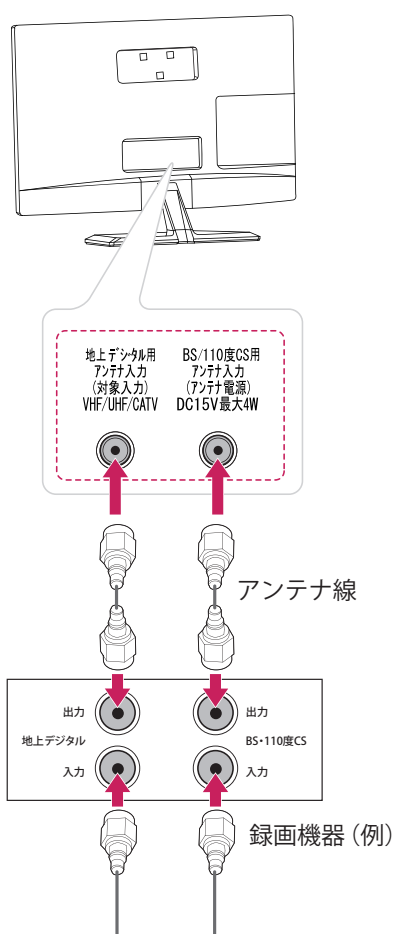
- マンションなどの共同受信システムの場合で、110度CSデジタル放送に対応していない場合は、110度CSデジタル放送を受信できません。視聴できる放送の種類については、マンションなどの管理会社にご確認ください。
- マンションなどでの共同受信システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません。マイアプリから**設定⇒チャンネル設定⇒アンテナ設定⇒アンテナ電源供給をオフ**に設定してください。

アンテナをテレビと録画機器に接続する

録画機器を経由する場合

BS・110度CSアンテナ用電源は録画機器から供給してください。

ホームボタンを押して、ホームダッシュボードを表示します。マイアプリから**設定⇒チャンネル設定⇒アンテナ設定⇒衛星⇒アンテナ電源供給をしない**に設定してください。



地上デジタル放送

BS・110度CS放送

✓ ヒント

- テレビが映らないとき

アンテナをテレビと録画機器に接続しても(18ページ)、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。

ーテレビと録画機器に分配する場合の接続方法もお試ください。

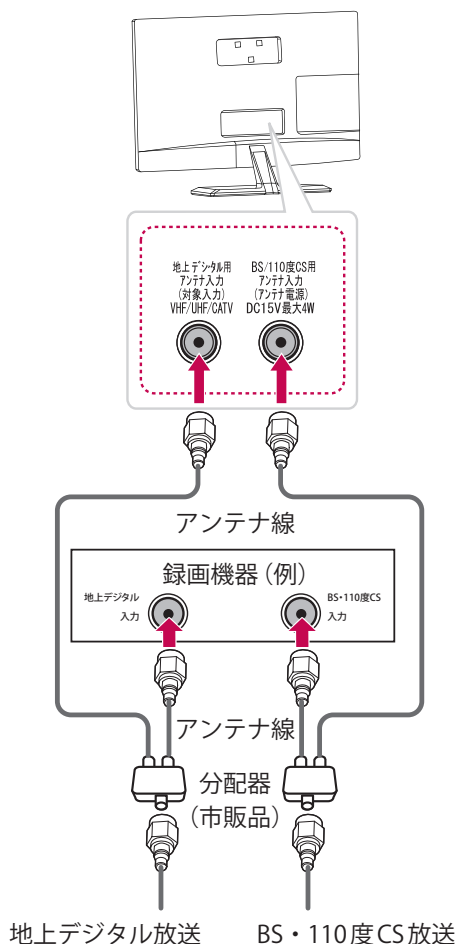
ー録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。

症状が改善されない場合は、**困ったとき**(46ページ)をご覧ください。

テレビと録画機器に分配する場合

録画機器にアンテナ出力端子がない場合や、録画機器やテレビが複数ある場合などは、分配器を使って接続することもできます。

録画機器を経由するとテレビがよく映らない場合などにもこの接続をお試しください。

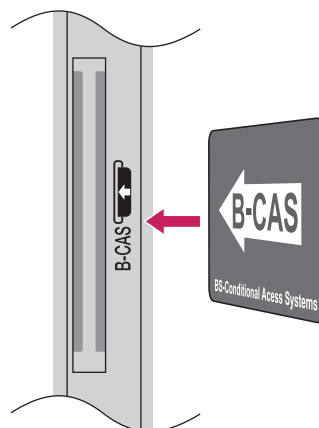


✓ ヒント

- 録画機器で受信した番組や録画した番組を見るための接続については、**BD・DVD プレーヤー/レコーダー、ビデオを接続する** (20ページ) をご覧ください。
- BS・110度CS 共用アンテナは電源を必要とします。BS・CS/UV 混合器や分波器は、本機のBS・110度CS アンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

B-CAS カードを入れる

B-CAS カードは本機側面の B-CAS カード挿入口にカード表面に印刷されている矢印の方向に合わせて、確実に差し込んでください。



B-CAS カードについて

地上・BS・110度CS デジタル放送では、B-CAS カードを利用した限定受信システムを採用しています。

B-CAS カードの情報を確認するには

ホームボタンを押して、ホームダッシュボードを表示します。マイアプリから**設定⇒チャンネル設定⇒B-CAS 情報確認**を選びます。

B-CAS カードを抜くには

- 1 本体またはリモコンの電源ボタンで電源を切ります。
- 2 B-CAS カード挿入口から、ゆっくりと B-CAS カードを抜きます。

✓ ヒント

- B-CAS カードには、IC (集積回路) が組み込まれています。画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。

外部機器を接続する

各種外部機器を本機背面の端子に接続します。

✓ ヒント

- テレビ番組をレコーダーまたはビデオなどに録画する場合は、テレビの信号入力ケーブルをレコーダーまたはビデオデッキを経由してテレビに接続してください。録画の詳細については、接続する機器に付属のマニュアルを参照してください。
- 外部機器接続方法は、機種によって異なる場合があります。

本機背面の接続端子に、それぞれの外部機器を接続します。

- 1 下図から、接続する外部機器を選択します。
- 2 接続する外部機器の接続タイプを確認します。
- 3 接続タイプに合わせて、接続の詳細をご確認ください。

BD プレーヤー/レコーダー



- HDMI
- D5
- ビデオ

DVDプレーヤー/レコーダー



- HDMI
- D5
- ビデオ

ビデオ



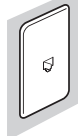
- ビデオ

オーディオ機器



- デジタル

LAN



- LAN

PC



- HDMI
- RGB

デジタルムービーカメラ/カメラ



- HDMI
- D5
- ビデオ

USB



- メモリー

ヘッドホン



- ヘッドホン

ゲーム機



- HDMI
- D5
- ビデオ

✓ ヒント

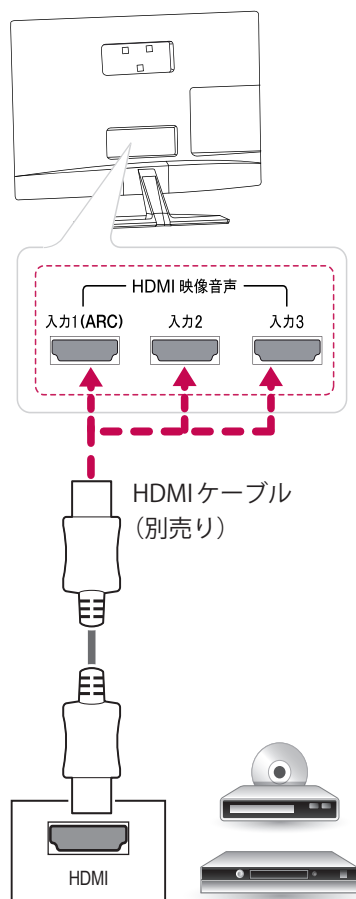
- ゲーム機器をテレビに接続する場合は、ゲーム機器に付属のケーブルを使用します。

BD・DVD プレーヤー／レコーダー、ビデオを接続する

ビデオやDVD プレーヤーなどを再生するための接続です。

HDMI 端子に接続する

HDMI ケーブルで接続すると、高画質と高音質でお楽しみいただくことができます。本機のHDMI入力端子に接続してください。



✓ ヒント

- CEC (Customer Electronics Control) 対応の最新 High Speed HDMI ケーブルを使用してください。
- High Speed HDMI ケーブルで 1080p 以上の送信が検証済みです。
- ARC (Audio Return Channel) 接続
 - ARC は HDMI 1 (ARC) 入力のみ対応しています。
 - ARC に対応している機器をつないで ARC 機能を利用したいときは、HDMI 1 (ARC) 入力につないでください。
 - High Speed HDMI ケーブルでつないでいるときは、光デジタル音声をつながなくてもデジタル音声を対応機器に送信できます。

✓ ヒント

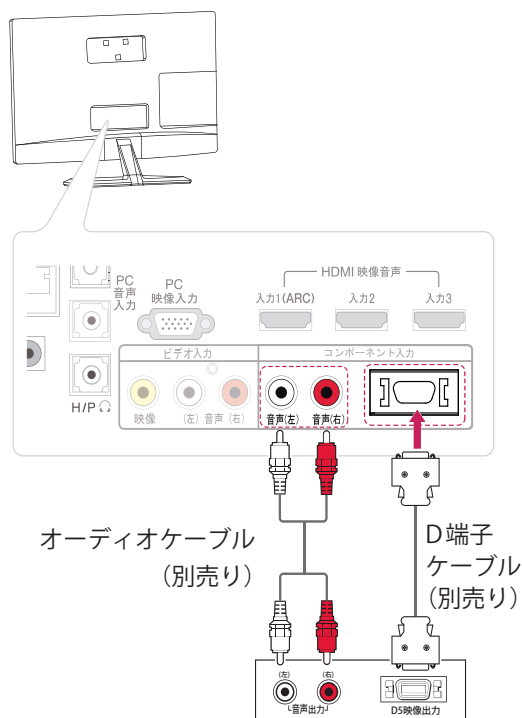
- DTVオーディオサポートフォーマット：AAC
- HDMIオーディオサポートフォーマット：Dolby Digital、AAC、PCM (32kHz / 44.1kHz / 48kHz / 88kHz / 96kHz / 176kHz / 192kHz まで)
- 出力する機器側の信号切り換えや操作により画面や音声にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。

HDMIの対応信号

番号	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	PIXクロック (MHz)	適用名
1	720 x 480	31.47	59.94	27.000	SDTV 480p
2		31.50	60.00	27.027	SDTV 480p
3	1280 x 720	44.96	59.94	74.176	HDTV 720p
4		45.00	60.00	74.250	HDTV 720p
5	1920 x 1080	33.72	59.94	74.176	HDTV 1080i
6		33.75	60.00	74.250	HDTV 1080i
7		67.432	59.94	148.350	HDTV 1080p
8		67.50	60.00	148.500	HDTV 1080p
9		33.75	30.00	79.20	HDTV 1080p
10		27.00	24.00	63.36	HDTV 1080p

D5映像（コンポーネント）端子に接続する

D5映像端子のあるDVDプレーヤーなどと、本機のD5映像端子を接続すると、よりあざやかな映像を楽しむことができます。本機のD5映像（コンポーネント）入力端子に接続してください。



D5映像（コンポーネント）の対応信号

番号	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	720 × 480	15.73	59.94
2		15.75	60.00
3		31.47	59.94
4		31.50	60.00
5	1280 × 720	44.96	59.94
6		45.00	60.00
7	1920 × 1080	33.72	59.94
8		33.75	60.00
9		67.432	59.94
10		67.50	60.00

✓ ヒント

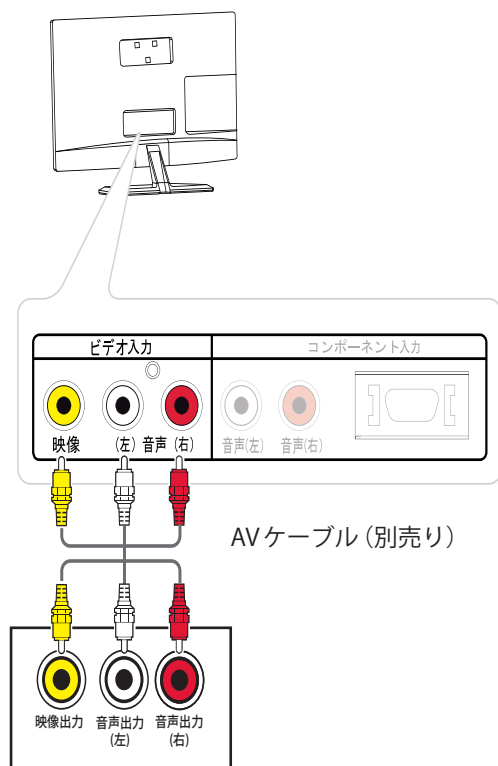
- ケーブルが正しく取り付けられていないと、映像が白黒で表示されたり、色が歪んで表示されることがあります。ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
- ケーブルを外すときは、ケーブルを無理に引っ張らず、プラグの先を持って外してください。
- 本機と接続している機器の距離が近すぎると、映像や音声電波によって干渉を受けることがあります。ノイズや雑音がでるときは、お互いを十分に離してください。

ビデオ端子に接続する

本機と外部機器を AV ケーブルでつなぎます。

✓ ヒント

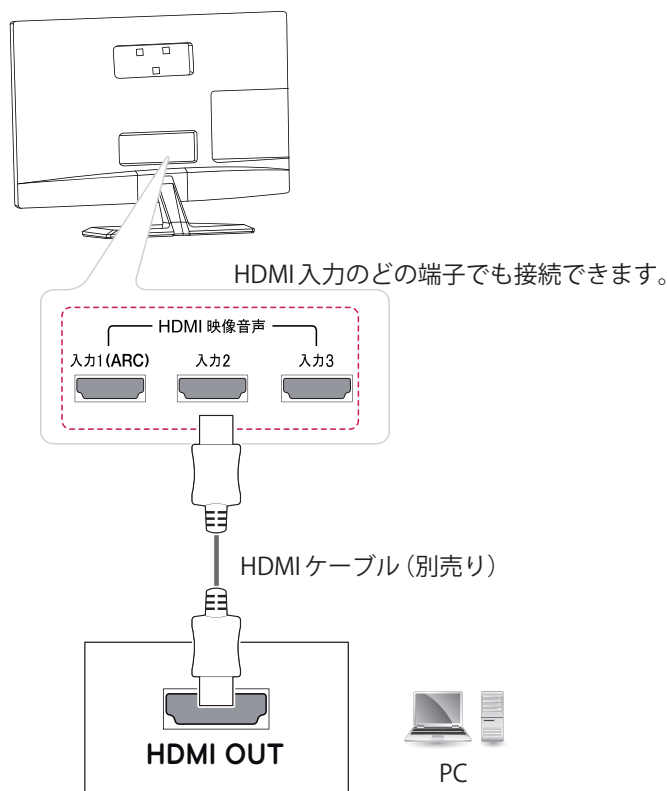
- モノラルのビデオデッキをつなぐときは、オーディオケーブルを本機の音声入力（右）端子につないでください。
- AV ケーブルと端子の色が同じになるようにつないでください。



PC を接続する

HDMI 接続、DVI/HDMI 接続、RGB 接続の中から、PC の接続端子に合った接続を選んでください。

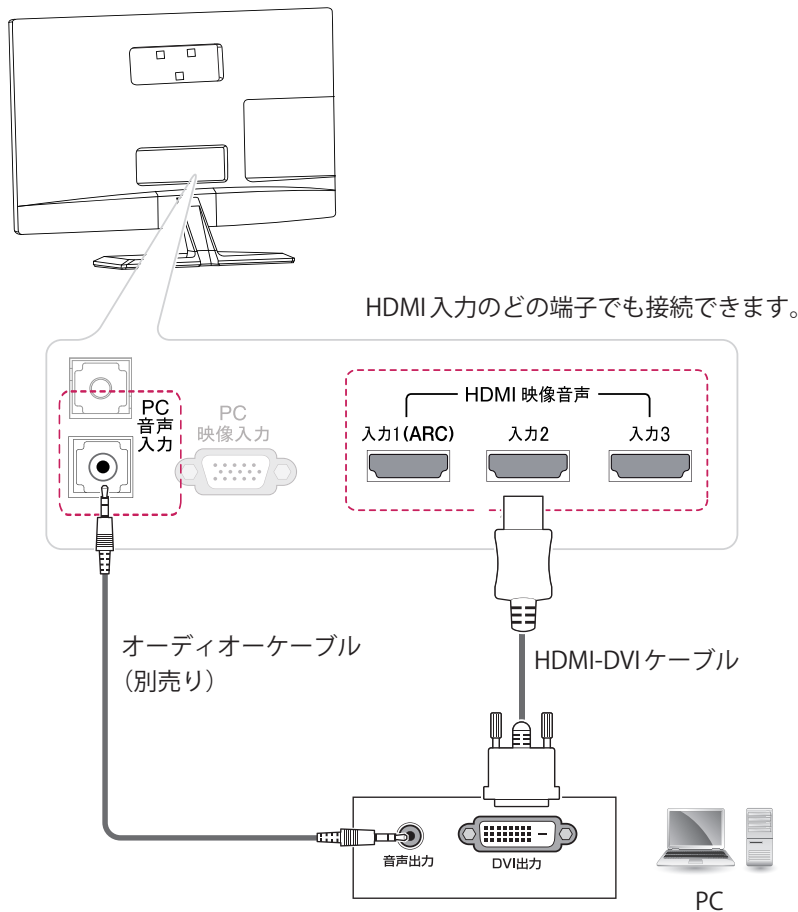
HDMI 接続



✓ ヒント

- 高画質で表示するには HDMI 接続をおすすめします。
- グラフィックカードによっては、DVI ケーブルに HDMI が使用されている場合、DOS モードが機能しない場合があります。
- PC モードでは、解像度、垂直パターン、コントラスト、明るさに関連するノイズが発生する場合があります。ノイズがある場合、PC 出力を別の解像度に変更し、リフレッシュレートを別のレートに変更するか、マイアプリから**設定⇒映像⇒映像モード⇒明るさ／コントラスト**を映像がクリアになるまで調整してください。
- 水平または垂直周波数の同期入力形式はセパレートです。
- グラフィックカードによっては、特定の解像度設定で映像を画面に正しく表示できない場合があります。
- 画面に静止映像を長時間表示させないでください。静止映像が画面に焼き付く場合があります。
- HDMI-PC を 1920x1080 で使用しているときに映像が画面からはみだした表示（オーバースキャン）になることがあります。マイアプリから**設定⇒映像⇒画面サイズ⇒ジャストスキャン**に変更してください。

DVI/HDMI接続



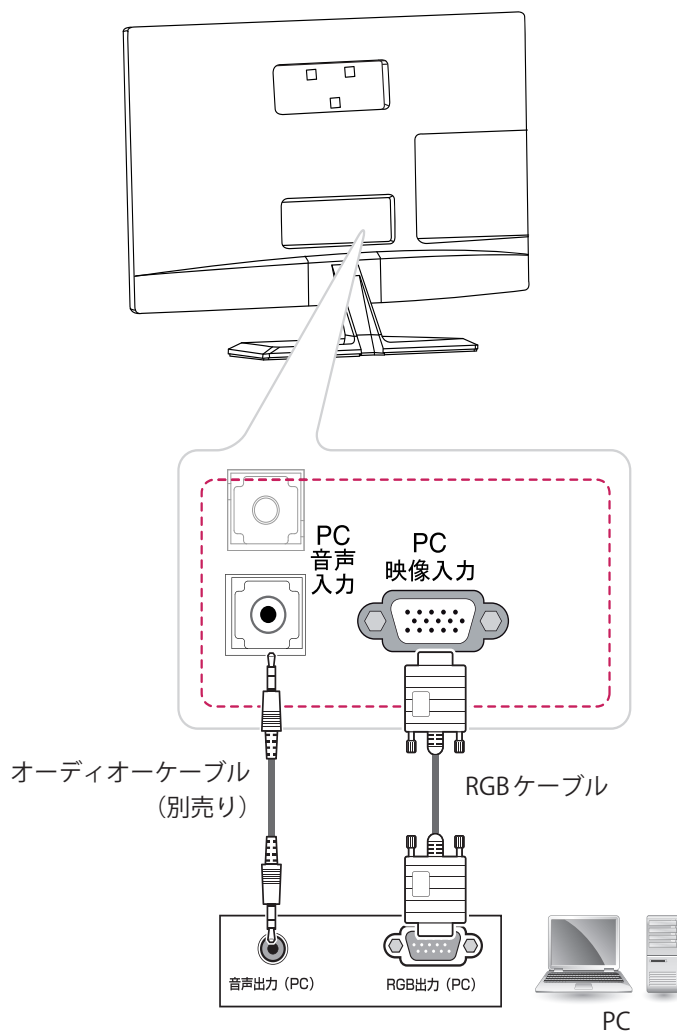
ヒント

- 映像が画面からはみだした表示（オーバースキャン）になることがあります。この場合はマイアプリから**設定⇒映像⇒画面サイズ⇒ジャストスキャン**へ変更してください。
- 解像度が640 × 480 のときは**画面サイズ**を**ジャストスキャン**にできません。
- 付属のHDMI-DVI ケーブルを使用することで、PC 画面の画質をあざやかに出力することができます。

HDMI-PC の対応信号

番号	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	PIX クロック (MHz)	適用名
1	640 × 350	31.468	70.09	25.17	EGA
2	720 × 400	31.469	70.08	28.32	DOS
3	640 × 480	31.469	59.94	25.17	VESA(VGA)
4	800 × 600	37.879	60.317	40.00	VESA(SVGA)
5	1024 × 768	48.363	60.004	65.00	VESA(XGA)
6	1152 × 864	54.348	60.053	80.002	VESA
7	1280 × 1024	63.981	60.020	108.00	VESA(SXGA)
8	1360 × 768	47.712	60.015	85.50	VESA(WXGA)
9	1920 × 1080	67.50	60.00	148.50	WUXGA (CEA861D)

RGB 接続



RGB-PCの対応信号

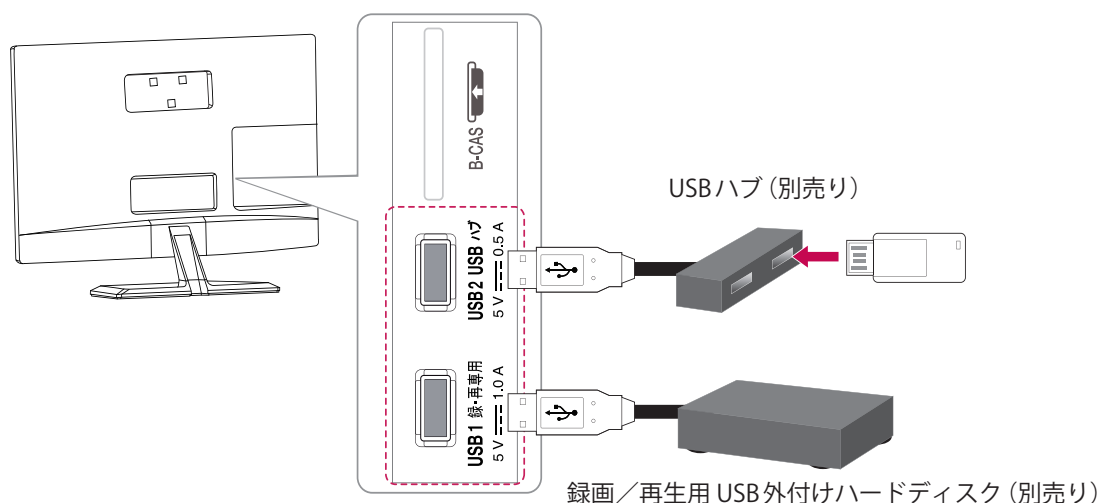
番号	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	640 × 350	31.468	70.09
2	720 × 400	31.469	70.08
3	640 × 480	31.469	59.94
4	800 × 600	37.879	60.31
5	1024 × 768	48.363	60.00
6	1152 × 864	54.348	60.053
7	1360 × 768	47.712	60.015
8	1920 × 1080	67.50	60.00

USB 機器を接続する

録画用USB外付けハードディスクをUSB1 (録・再専用) 端子に接続することで、デジタル放送を録画できます。はじめて接続した録画用USB外付けハードディスクは、初期化してください。

USBハードディスクの初期化や設定はリモコンの**ホーム**ボタンまたは**マイアプリ**ボタンを押して、**設定→機器設定→USBハードディスク**で行います。

USBメモリーやUSB外付けハードディスクをUSB端子につないで、SmartShare™ (スマートシェア) でコンテンツを楽しめます。



✓ ヒント

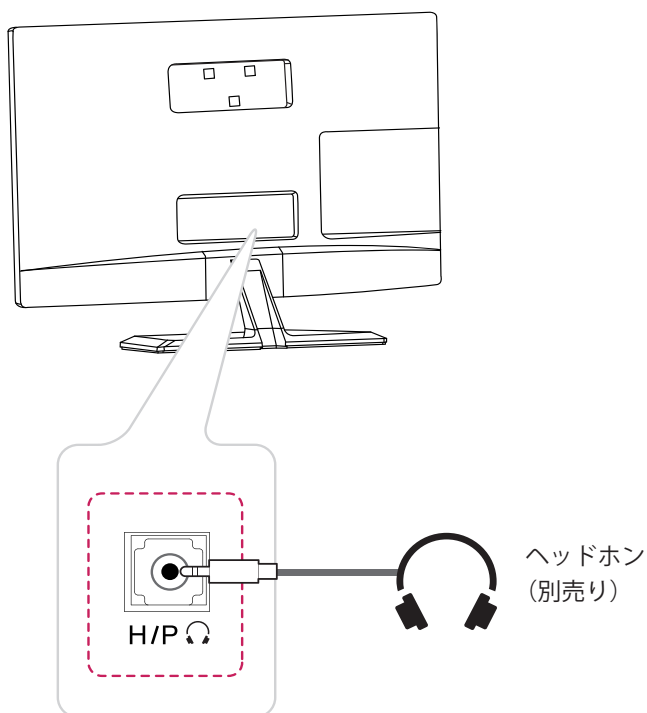
- USBハブを使うときは、USB2 (USBハブ) 端子につないでください。
- USBハブは、ACアダプターを電源コンセントに接続して電源を供給するタイプのものをお勧めします。
- USB端子から電源を共有するタイプでは、接続したUSB機器が安定して動作しないことがあります。
- USB端子に2つ以上のUSBハードディスクなどのUSB機器を接続すると、動作しないことがあります。
- 写真、音楽および動画が記録されたUSBメモリーは、どのUSB端子でも接続できます。

 ヒント

- 録画用USB外付けハードディスクはUSBハブを介した接続には対応していません。必ずUSB1 (録・再専用) 端子に直接接続してください。
- USBメモリーの転送速度は、メモリー装置ごとに異なった速度が検知されます。USB2.0未満のUSB機器もサポートされています。
- USB機器はパーティションを分けていないことを前提としています。
- 一部のUSB機器はサポートされないことや、正常に動作しないことがあります。
- USB機器が正常に作動しない場合には、一度USB機器を取り外したあとで、挿しなおしてください。
- 接続しているUSB機器が作動しているときには、本機の電源を切ったり、USB機器を外したりしないでください。USB機器を作動中に外した場合、保存されているファイル内容や、USB機器自体が損傷することがあります。
- USB2 (USBハブ) 端子にはWindowsオペレーティングシステムが利用するFAT32またはNTFSのファイルシステムでフォーマットされたUSB機器以外は使用しないでください。WindowsがサポートしないユーティリティプログラムでUSB機器をフォーマットしたファイルは、認識されないことがあります。
- 外部電源を必要とするUSB機器では、電源を必ず接続してください。電源を接続しないと、USB機器が認識されないことがあります。
- 接続するUSB機器は、電圧5V、定格電流500mA以下で使用してください。もし許容電圧/電流以上の機器を使用した場合、電源不足で正常に動作しなくなることがあります。
- USB機器との接続には、該当機器の製造メーカーが提供する接続ケーブルを使ってください。製造メーカーが提供するケーブル以外のケーブルや、過剰に長いケーブルを使用した場合、USB機器が認識されないことがあります。
- ファイルパス名は247文字まで認識可能です。フォルダーやファイルの名前が長すぎると、表示や認識が正しく行われません。
- USB外付けハードディスクの推奨記憶容量は2TB以下です。推奨記憶容量を超える装置は、正しく動作しないことがあります。
- USB機器上のデータは、損傷を受けることがあります。データの損傷、損失や直接または間接の損害について、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- USB外付けハードディスク上に記録保存した録画コンテンツを保存しておきたい場合には、そのUSB外付けハードディスク自体を保存して、新しいUSB外付けハードディスクを取り付けてください。
- 本機対応の写真、音楽、動画ファイルの詳細は、テレビ本体に内蔵している「操作ガイド」をご確認ください。

ヘッドホンの接続

本機にヘッドホンを接続して楽しむことができます。本機のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぎます。



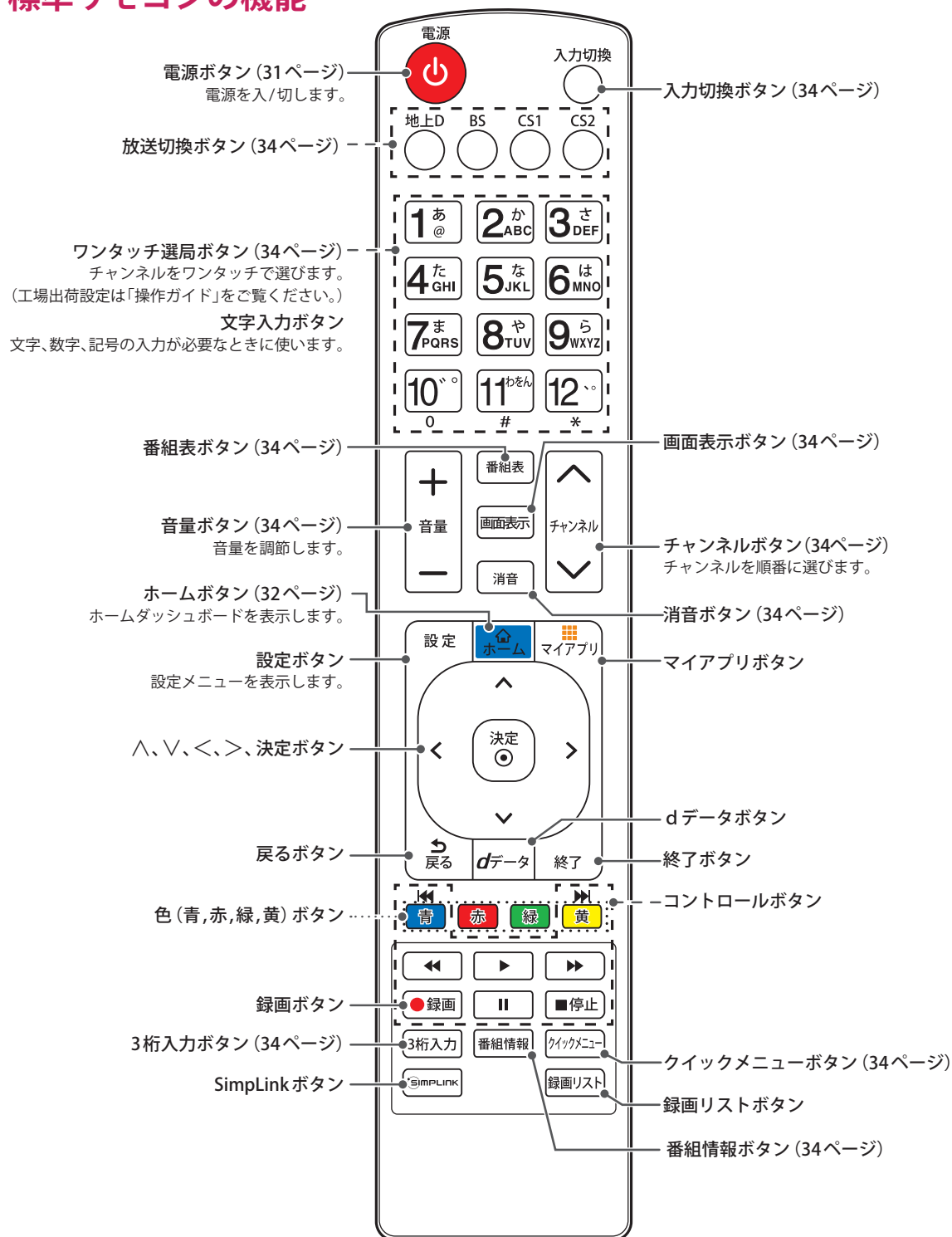
✓ ヒント

- ヘッドホンをつないだときは、設定メニューで**音声**の設定はできません。

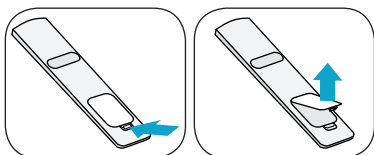
操作する

本機には標準リモコンが付属しています。

標準リモコンの機能



- 破損した場合は、すぐに使用を中止し、販売店または当社カスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

標準リモコンに乾電池を入れるには

カバーを開けて付属の単4形乾電池2本を入れ、カバーを閉めてください。⊕, ⊖の向きを正しく入れてください。リモコンは画面右下にあるリモコン受光部に向けて操作してください。

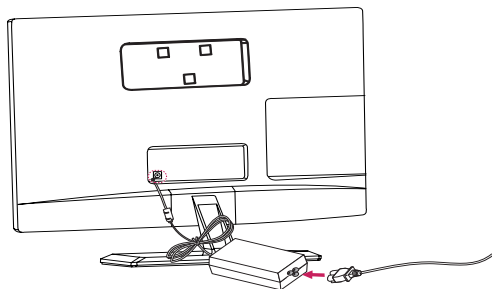
⚠ 注意

- 新しい乾電池と古い乾電池を一緒に使用しないでください。

はじめてテレビを起動したとき

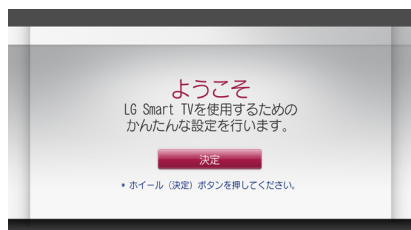
お買い上げ後初めて電源を入れるときや、テレビ本体の設定を初期化したときなどに、**初期設定画面**が自動的に表示されます。

1 電源プラグをコンセントに差し込む。



2 リモコンまたは本体の(電源) ボタンを押して、電源を入れる。

画面中央にLGロゴが表示されたあと、「ようこそ」と表示されます。



3 画面に従って、次の項目を設定する。

・使用環境

テレビの使用方法を選択してください。

ホームモード：ご家庭で使用する。

ストアモード：販売店での展示に使用する。

・地域

テレビを設置した地域を選択してください。

・郵便番号

テレビを設置した地域の郵便番号を設定してください。

・ネットワーク

テレビを接続するネットワークを設定してください。

・チャンネルスキャン

地上デジタル放送のチャンネル設定をしてください。

チャンネルスキャンでは、スキャンする帯域

を選択します。

UHF：通常のUHFアンテナを接続している場合。

全帯域：ケーブルテレビなどに加入してアンテナを接続している場合。

どちらかわからない場合は、全帯域を選択してください。

4 初期設定を完了する。



完了を選んで**決定**を押すと、初期設定が完了し、Smart TVを楽しむことができます。

ホームダッシュボードを使う

現在視聴中の放送や、さまざまなコンテンツ、アプリケーションをひとつの画面で見ることができ、簡単かつ便利に利用できます。

表示内容はカテゴリ別に、視聴中画面（ライブ放送）、コンテンツ（プレミアム、3Dなど）、アプリケーション（マイアプリ）でエリアにまとめ、このエリアをカードと呼びます。

カードとマイアプリはお好みに編集することができます。

1 ホームボタンを押す。



* 3Dコンテンツはご利用いただけません。

* 一部、ネットワークに接続していない状態では表示されないコンテンツもあります。

* 画面のイラストは実際と異なる場合があります。

① ライブカード

現在視聴中の放送画面やテレビの入力端子に接続されている外部機器の映像を表示します。

② プレミアムカード

ネットワークが接続された状態で、ビデオオンデマンド、ニュースや天気予報などのコンテンツをいつでも簡単に利用できるサービスです。プレミアムコンテンツは、各地域の特性を考慮して、グローバルコンテンツのほかに国別に特化したサービスが提供されます。一部のプレミアムコンテンツは有料です。

③ コンテンツカード

ゲームアプリケーションなどのコンテンツが表示されるカードです。このカードは4枚まで追加することができ、お好みのカードに編集することも可能です。

④ マイアプリ

テレビの各種設定メニューから番組表、録画リスト、Webブラウザーや各種コンテンツメニューにいたるまで、LG Smart TVを通じてお楽しみいただけるさまざまな機能が表示されるエリアです。このエリアは、お好みのメニュー順に並び替えたり、カスタマイズすることも可能です。

2 操作したい項目を選んで、決定を押す。

詳しくは、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。

「操作ガイド」の使いかたについては、「操作ガイドを使う」（38ページ）をご覧ください。

* USBハードディスクへの番組録画中は、USB機器やネットワークのコンテンツを再生できません。USB機器やネットワークのコンテンツを再生中に予約録画開始時刻になると、予約録画の開始前に確認メッセージが表示されます。予約録画の継続を選択すると、USB機器やネットワークのコンテンツの再生を終了して、以前視聴していた放送や外部入力画面に自動的に切り換わりします。予約録画のキャンセル

ンセルを選択すると、USB 機器やネットワークのコンテンツ再生が続けられます。

- * サービスはソフトウェアアップデートで変更される場合があります。
- * インターネットのサービスによっては、利用登録が必要なサービスがあります。
- * 当社は、インターネットのサービスによって提供されるコンテンツに一切の責任を負いません。
- * システム障害などによりサービスを利用できない場合があります。
- * クレジットカードの番号や氏名などを入力するときは、ページの提供者が信頼できるか充分注意してください。
- * 登録した情報は、ホームページのサーバーなどに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合は、登録時の規約などに従って、必ず消去してください。

テレビを見る

標準リモコンで操作する(基本的な選びかた)

標準リモコンでは下記のボタンで操作します。

ボタン	説明
	放送種別(地上D、BS、CS1、CS2)を選択します。
	チャンネルをワンタッチで選びます。
	順番にチャンネルを選びます。 地上デジタル放送は初期スキャン(地上Dスキャン)を行うことにより、各地域に合わせた放送局が割り当てられます。
	チャンネル番号を入力して選局します。 - 放送種別(地上D、BS、CS)ボタンで放送種別を選択し 1 ～ 10 ボタンで3桁のチャンネル番号を入力します。 地上デジタル放送の場合、3桁のチャンネル番号が県外の放送局と重複する場合があります。枝番号のあるチャンネルは、自動的に本機画面の右側に設定画面が表示されます。枝番を選択し、決定ボタンを押して選局します。チャンネル 入 / 下 ボタンでは、順次枝番チャンネルを含めてチャンネル選局ができます。
	音量を調節します。
	一時的に音を消します。 もとに戻すときはもう一度押します。
	外部入力を切り換えます。
	クイックメニューを表示します。
	番組の情報を表示します。
	チャンネルバナーを表示します。チャンネルバナーから、番組名やチャンネル情報、時刻などを確認できます。
	番組表 (EPG) を表示します。 番組表で、視聴・録画の予約を行うことができます。



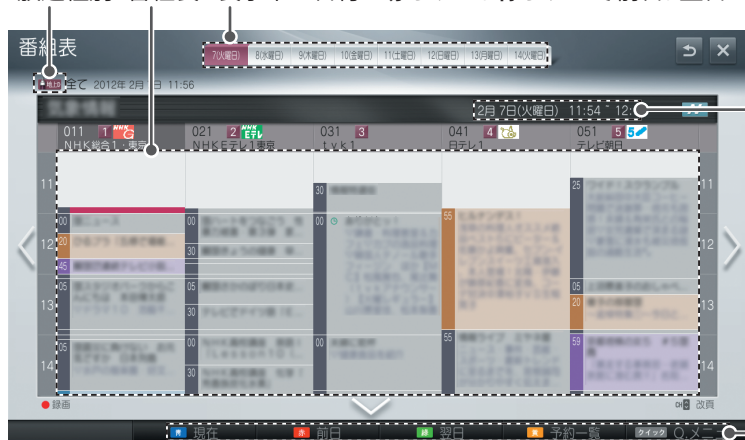
ヒント

- 放送切換ボタン、入力切換ボタン、数字ボタン、チャンネルボタンを押すことでも、電源を入れることができます。

番組表を表示する

- 1 デジタル放送視聴中に**ホーム**ボタンまたは**マイアプリ**ボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから**番組表**を選んで、**決定**を押す。

放送種別 番組表 表示中の日付：**赤**ボタン/**緑**ボタンで前日/翌日への切り換えができます。



現在時刻

リモコンの操作ガイド

リモコン ボタン	説明
青	現在時間の表示にします。
赤・緑	前日/翌日への切り換えができます。
黄	カーソル位置の番組を録画予約します。
クイック メニュー	番組表のクイックメニューを表示します。

- 3 表示を終了するときは、**終了**ボタンを押す。

録画する・予約する

視聴中の番組を録画する

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから録画設定を選んで、決定を押す。



画面のイラストは実際とは異なることがあります。

- 3 録画開始を選んで、決定を押す。



録画を停止するには

ホームダッシュボードのマイアプリから録画設定
➡オプション停止➡録画停止を選びます。

⚠ 注意

- USBハードディスクへの番組録画中は、USB機器やネットワークのコンテンツを再生できません。USB機器やネットワークのコンテンツを再生中に予約録画開始時刻になると、予約録画の開始前に確認メッセージが表示されます。予約録画の継続を選択すると、USB機器やネットワークのコンテンツの再生を終了して、以前視聴していた放送や外部入力画面に自動的に切り換わります。予約録画のキャンセルを選択すると、USB機器やネットワークのコンテンツ再生を続けられます。

録画予約する

放送開始前の番組を予約できます。

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから番組表を選んで、決定を押す。
- 3 録画したい番組を選んで、決定を押す。



- 4 番組情報画面の録画予約を選んで、決定を押す。



- 5 決定を選んで、決定を押す。
録画予約を終了します。番組表に🕒 (赤) マークが表示されます。



ヒント

- 詳細設定で、毎週の繰り返し録画など詳細な設定ができます。

視聴予約をする

放送開始前の番組を予約できます。

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから番組表を選んで、決定を押す。
- 3 視聴したい番組を選んで、決定を押す。



- 4 視聴予約を選んで、決定を押す。



- 5 決定を選んで、決定を押す。
視聴予約を終了します。番組表に🕒 (青) マークが表示されます。予約した時間になると、本機の電源が入ります。終了時間まで無操作状態が続くと、番組終了と同時に電源が切れます。



ヒント

- 次の操作については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。
予約一覧／予約の削除／詳細な予約設定／重複予約／録画した番組を見る

操作ガイドを使う

テレビ本体に内蔵されている「操作ガイド」で、本機の機能の詳しい説明をご覧になれます。「操作ガイド」の目次は3ページをご覧ください。

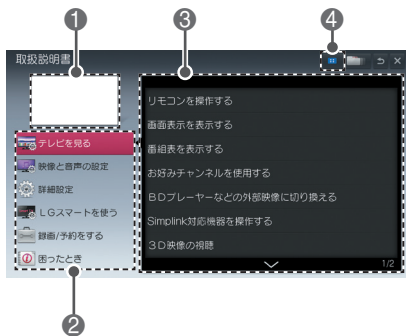
- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから**操作ガイド**を選んで、**決定**を押す。



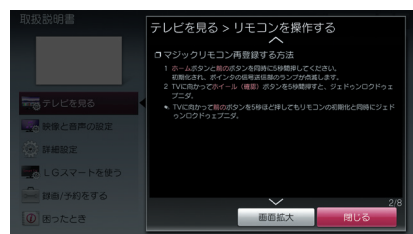
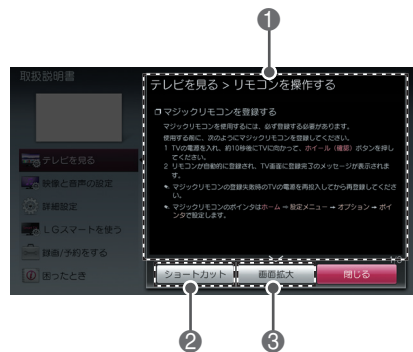
画面のイラストは実際とは異なることがあります。



操作ガイド



- 1 受信中の映像。
- 2 カテゴリーを選びます。
- 3 項目を選びます。△／▽を選ぶとページを送れます。
- 4 索引を表示します。

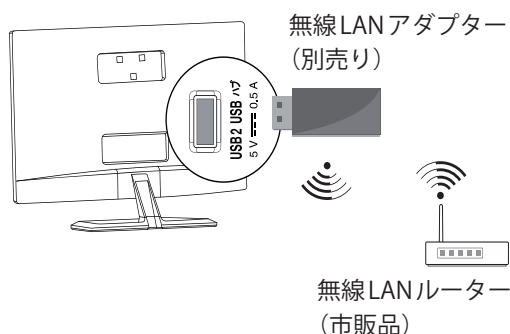


- 1 選んだ項目の説明。△／▽を選ぶとページを送れます。
- 2 説明されている機能を直接操作できます。
- 3 画面を拡大／縮小します。

ネットワークに接続する

有線LANまたは無線LAN接続を利用して、本機をネットワークに接続することで、さまざまなコンテンツを楽しむことができます。

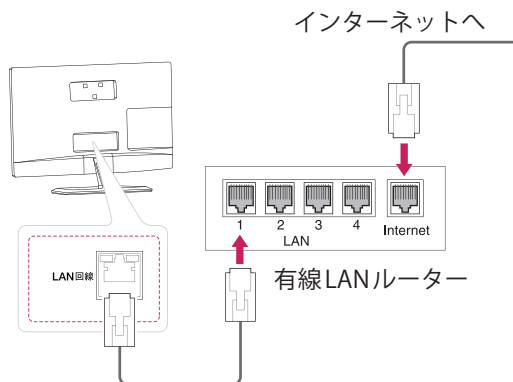
無線LANに接続する



✓ ヒント

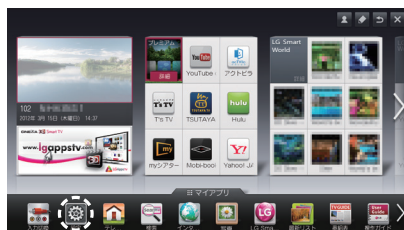
- 本機で無線ネットワークに接続するには、別売アクセサリの無線LANアダプター (AN-WF100) が必要です。
- 無線ネットワークの接続中には、無線LANアダプターを取り外したりしないでください。

有線LANに接続する



ネットワーク設定をする

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから設定を選んで、決定を押す。



- 3 ネットワーク⇒ネットワーク接続を選んで、決定を押す。



- 4 接続開始を選んで、決定を押す。



自動的に接続可能なネットワークを検索します(有線LANが優先されます)。



中止を選んだり、接続に失敗した場合は接続可能なネットワークのリストが表示されます。接続するネットワークを選んでください。

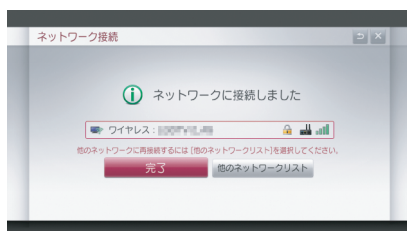


鍵マークが表示されている無線LANルーターを選んだ場合は、セキュリティキーを入力してください。



接続されたネットワークが表示されます。

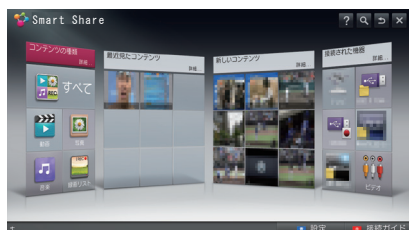
5 完了を選んで、決定を押す。



他のネットワークリストを選んだ場合は、他の接続可能なネットワークのリストが表示されます。

SmartShare™ (スマートシェア) を使用する

HDMI、USB 記憶装置、Wi-Fi や DLNA 認定サーバー機器に保存されたコンテンツを、SmartShare の画面ひとつにすべて表示・再生することができます。



機器を接続する

- 録画用 USB ハードディスクを接続する：「USB 機器を接続する」(26 ページ)
- USB メモリーを接続する：「USB 機器を接続する」(26 ページ)
- HDMI 機器を接続する：「HDMI 端子に接続する」(20 ページ)

PC やスマートフォンなどを Wi-Fi または DLNA 機能を利用して本機に接続する場合は、あらかじめ接続機器側のネットワーク設定を行う必要があります。この設定については、接続機器側の取扱説明書などをご覧ください。



ヒント

- SmartShare™ で利用できるファイル形式については、テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください。



注意

- DLNA 認定サーバー (レコーダーなど) が公開している動画で、本機が対応しているファイル形式のコンテンツであっても再生出来ない場合があります。
- DLNA 認定サーバー (レコーダーなど) が公開している動画の早戻し (◀)、早送り (▶) や早送り再生の操作には対応していません。

SmartShare™ の画面について

- ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- SmartShare™ を選んで、決定を押す。



- 映像／音楽／写真などの種類別で選べます。
- 最近視聴したコンテンツリスト。
- 新しいコンテンツリスト。
- 接続した機器のコンテンツを視聴できます。



ヒント

- SmartShare™ の設定については、本体に内蔵の「操作ガイド」をご参照ください。

PC を DLNA 接続する

本機と同一のホームネットワークに接続し、PC の DLNA 接続アプリケーションを起動することで、PC 側のコンテンツを、本機の SmartShare™ で楽しむことができます。

Nero MediaHome4 が使用できます。

「Nero MediaHome4」は、<http://www.lg.com/jp> より、バンドル版をダウンロードできます。詳しくは、<http://www.nero.com/jpn> をご覧ください。

スマートフォンを DLNA 接続する

スマートフォンを本機と同一のホームネットワークに接続し、スマートフォンの DLNA 接続アプリケーションを起動することで、スマートフォン側のコンテンツを本機の SmartShare で楽しむことができます。

スマートフォンの DLNA 接続用アプリケーションは、スマートフォン側の取扱説明書をご覧ください。

Media Link (メディアリンク) を利用する

Media Link機能を利用すると、PCに保存されたコンテンツをテレビ側で再生するだけでなく、インターネットからそのコンテンツのメタデータを収集してより多くの情報を楽しむことができます。

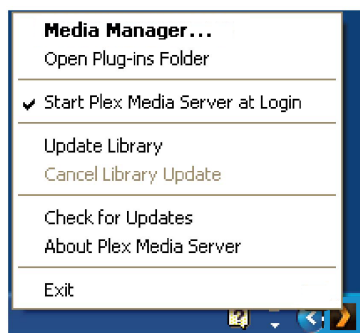
Media Linkを利用するには、あらかじめPCにPlex Media Serverをインストールして起動する必要があります。

Plex Media Serverは、次のホームページからダウンロードしてください。

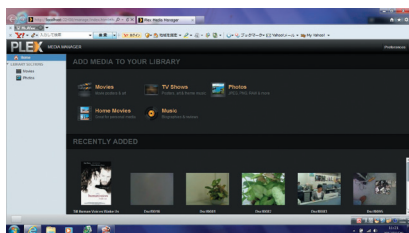
なお、このホームページとソフトウェアは英語版となります。

www.plexapp.com/medialink

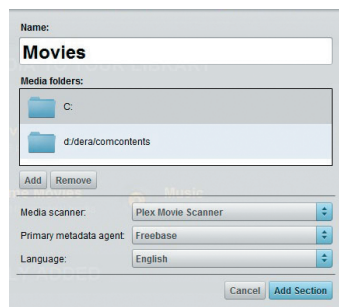
- 1 PCで、アプリケーションソフトをインストールしたあとで、タスクバーのPlexアイコンを右クリックする。
- 2 PCで、**Media Manager**⇒**Create Library Section**をクリックする。



- 3 PCで**Movie**、**TV Shows**、**Photos**、**Music**、**Home Movies**、**Music**から選んでフォルダを設定する。



- 4 PCでフォルダを設定し、**Add Section**をクリックする。



- 5 テレビの電源を入れて、**ホーム**ボタンまたは**マイアプリ**ボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 6 本機で、**Media Link**を選んで、**決定**を押す。



- 7 本機で**機器選択**を選んで、**決定**を押す。



- 8 該当するPCを選んで、**決定**を押す。



9 コンテンツフォルダを選ぶ。

該当するコンテンツを楽しむことができます。

また、緑ボタンの**Plex Channels**を選ぶとPLEXが提供するコンテンツを楽しむことができます。



*ファイルシェアリングについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.plexapp.com/medialink>

Wi-Fi Screen Shareを使用する

Wi-Fi DirectやWiDiの機能を利用して、画面を共有できます。

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから**設定→ネットワーク→Wi-Fi Screen Share**を選んで、**決定**を押す。
Wi-Fi Screen Shareが**オン**に設定されているときは、接続可能な機器のリストが表示されます。
- 3 すぐに接続するときは、**はい**を選んで、**決定**を押す。
Wi-Fi Screen Shareが本機に表示されます。



電波干渉を最小限に抑えるために、使用しないときは**Wi-Fi Screen Share**を**オフ**にしておいてください。

*Wi-Fi directの接続については、接続するWi-Fi機器やWi-Fi機器のアプリケーションソフト側の取扱説明書をご確認ください。

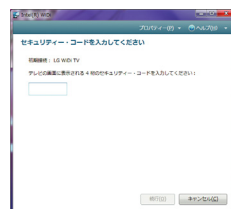
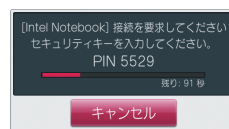
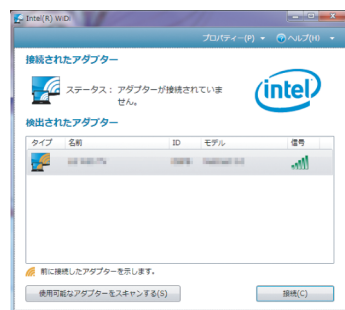
ヒント

- Wi-Fi Screen ShareやWiDi機能の利用には別売りのLG Smart TV専用ブロードバンド無線LANアダプター (AN-WF100) が必要です。

WiDi (Wireless Display) を使用する

WiDi対応のPCの画面を本機の画面で無線表示できます。

- 1 本機の**Wi-Fi Screen Share**が**オン**になっていることを確認して、PCを無線LANのアクセスポイントに接続する。
アクセスポイントに接続しなくてもWiDi機能を使用できますが、アクセスポイントに接続することをおすすめします。
- 2 PCで、WiDi対応機器のリストが表示されたら、本機をクリックし、4桁の数字(本機の画面に表示されている)を入力する。
10秒程度でPCに本機の画面が表示されます。電波が弱いと画面が消えることがあります。



*インテルWiDiに対応しているPC(第2世代インテルCore プロセッサを搭載)のみ可能です。

*本機が放送や外部入力(コンポジット入力/D5映像入力/HDMI入力)の信号を受信しているときのみ可能です。

*本機はWiDiアダプターを内蔵しています。

*本機の光デジタル音声出力端子から出力される音声はPCMになります。

*WiDiについて詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
<http://www.intel.com/go/widi>

本機のソフトウェアアップデートについて

本機のソフトウェアを自動で更新して最新の状態にします。更新されていないと、本機の機能が正しく働かない場合があります。ソフトウェアのアップデートは手動でも行えます。

- 1 ホームボタンまたはマイアプリボタンを押して、マイアプリを表示する。
- 2 マイアプリから**設定⇒サポート⇒ソフトウェアダウンロード⇒オン**を選んで、**決定**を押す。
新しいソフトウェアを発見すると本機が自動でダウンロードします。ダウンロードが終了するとソフトウェア更新画面が表示されます。
- 3 更新されたソフトウェアのバージョンを確認する。
インストールされたソフトウェアより新しいバージョンがあるときは、手動で更新できます。

⚠ 注意

- 最新ソフトウェアはデジタル放送やインターネットを通じて取得します。
- デジタル放送からダウンロード中に設定変更すると、ダウンロードに影響します。初期化するとダウンロードが再開します。
- ソフトウェアが最新の状態に更新されていないと、本機の機能が正しく働かないことがあります。

困ったとき

故障かな？と思ったら

故障かな？と思われたら、販売店へご連絡される前に、下記のことを一度お確かめください。

それでも同じ症状が出ている場合には、ご自分では絶対に修理せず、お買い求めの販売店または、当社カスタマーサポートセンターへご相談ください。カスタマーサポートセンターについてのご案内は、64ページをご覧ください。

全般

このようなときは	ここをお調べください	ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	31
リモコンが動作しない	乾電池の極性(⊕, ⊖)が逆になっていませんか？	30
	リモコンの乾電池が消耗していませんか？	
	リモコンの操作可能範囲で操作していますか？	
	標準リモコンはリモコン受光部に向けて使用していますか？	7
映像も音声も出ない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか？	31
	ビデオ入力などの外部機器入力を選んでいませんか？	34
	チャンネルスキャンはしましたか？	操作ガイド
主電源を入れてから、映像・音声が出るのに時間がかかる	映像と音声が出るまでに、15秒程度の時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。1分以上待っても出ない場合は、電源プラグをコンセントから抜いて1分程度置いてから入れ直してみてください。	-
色が薄い/色合いが悪い	色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか？	操作ガイド
映像は出るが音が出ない	音量が最小になっていませんか？	34
	消音状態になっていませんか？	34
	ヘッドホン端子にヘッドホンのプラグが差し込まれたままになっていませんか？	28
	D映像端子に接続しているときに、音声端子にも接続していますか？	21
特定のチャンネルだけ映らない	チャンネルがスキップされていませんか？	操作ガイド
	機器設定の地域設定は正しいですか？	操作ガイド
勝手に電源が切れる	オフタイマー、無信号自動オフ、無操作自動オフが設定されていませんか？	操作ガイド
	視聴予約されていて電源スタンバイから自動電源オンされ、予約番組が終了時刻となったものではありませんか？	操作ガイド
	本機内部の温度が異常に上昇し、内部保護回路が動作した可能性があります。	61
全ての操作ボタンを受け付けない 本機で全く操作できない	リモコンの乾電池が消耗していませんか？	30
	リモコンの乾電池に問題がない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンボタンを操作してください。	31

アンテナ

アンテナ工事には、技術と経験が必要ですので、必ず販売店へご相談ください。

このようなときは	ここをお調べください	ページ
映像が出ず、雑音のみ出る	- アンテナ線が外れたり、ショートしたりしていませんか？ - アンテナ線は正しく接続されていますか？	13
(BS、110度CS デジタル放送のとき) - 映像や音声が出ない、または時々出なくなる - 映像が時々静止する - 画面に四角のノイズが出たり、途切れたりする	1. BS/CS アンテナの向きがずれている。 2. 雷雨や豪雨などにより、受信電波が弱くなり、一時的に映像や音声が止まったり、全く受信できなくなる場合があります。	1. 受信状況 でアンテナ入力レベルが最大になる角度にBS・CSアンテナを調節してください。 2. 天候が回復すると元に戻ります。
(BS、110度CS デジタル放送のとき) 110度CS デジタル放送が受信できない	- アンテナが110度CS デジタル放送に対応していない。 - アンテナ線やブースター、分配器が110度CS デジタル放送に対応していない。	アンテナ、アンテナ線、ブースター、分配器は、110度CS デジタル放送に対応したものを使用してください。
(BS、110度CS デジタル放送のとき) 特定のチャンネルの映像や音声が出なくなったり、または時々出なくなる	本機とアンテナ線を接続するとき、デジタル放送に対応していないアンテナ線や分配器、分波器などを使用すると、PHS デジタルコードレス電話機など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器の影響を受ける場合があります。	アンテナを接続する場合は、シールド性の良いBS・CS デジタル放送対応のアンテナ線や機器をご使用ください。
(BS、110度CS デジタル放送のとき) 急に画質や音質が少し悪くなった	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、受信電波が弱くなっている場合は、電波が弱くなくても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。天候が回復すると元に戻ります。
(BS、110度CS デジタル放送のとき) 有料放送の視聴ができない	1. B-CAS カードが正しく挿入されていない。 2. 有料放送を視聴するための手続きがされていない。	1. B-CAS カードを正しく挿入してください。 2. 視聴手続きを行ってください。
(地上デジタル放送のとき) - 映像や音声が出ない、または時々出なくなる - 映像が時々静止する - 画面に四角のノイズ(ブロックノイズ)が出たり、音声途切れたりする	1. UHF アンテナの向きがずれている。 2. UHF アンテナが地上デジタル放送に対応していない。(特定チャンネル対応の場合など) 3-1. ブースターの調整やアッテネーターの設定が適切になっていない。 3-2. 放送局の送出出力が変化した。	1. 受信状況 で、アンテナ入力レベルが最大になる角度にUHF アンテナを調節してください。 2. 地上デジタル放送に対応していない場合は、対応するUHF アンテナに交換してください。 3. ブースターの調整を見直したり、アッテネーターの追加、削除により、受信レベルが受信可能なレベルになるよう調整してください。
(地上デジタル放送のとき) 地上デジタル放送が受信できない	地上デジタル放送の放送エリアからはずれている。	お客様のお住まいの地域で、地上デジタル放送が開始されているか確認してください。
地上デジタル放送で、放送局ロゴが表示されない	1. 地上デジタルの各放送を視聴せず、電子番組表などを見ている。 2. UHF アンテナの向きがずれている。	1. 地上デジタル放送の各チャンネルを10分程度視聴してから、電子番組表などを再度確認してください。 2. 受信状況 で、アンテナ受信レベルが最大になるようにアンテナの向きを調整してください。
電子番組表や、データ放送を見ていると、画面が1秒間程度暗くなる場合がある	視聴している番組が通常放送(SD放送)からハイビジョン放送(HD放送)に変わった場合、またこの逆の場合、本機のスクリーン情報の書き換えのために1秒間程度画面を暗くして映像の乱れを防止しています。	-

操作
ガイド

-

13

-

-

18

56

操作
ガイド

13

16

57

操作
ガイド

-

このようなときは	ここをお調べください	ページ
番組表が表示されない	- 全チャンネルの番組表を取得するには、電源オフ（コンセントは接続したまま）の状態です1時間程度放置してください。（番組表はスタンバイ状態のときに本機が自動的に全チャンネルを巡回して取得します。最大で6時間くらいかかることがあります。） - 地上デジタル放送のテレビを視聴中は、視聴しているチャンネルのみ番組表が取得されます。また、8日分の番組表を取得するには、10分程度視聴し続ける必要があります。	-
予約が実行されない	録画／視聴予約 で予約した後に、電源プラグがコンセントから抜けた。 録画／視聴予約 で予約した場合は、電源プラグがコンセントから抜けていると予約が実行されません。	36
字幕や文字スーパーが出ない	1. メニューの 文字スーパー表示、字幕表示がオフ に設定されている。 2. 字幕や文字スーパーのある番組を選局していない。 1. マイアプリから 設定⇒機器設定⇒字幕設定⇒字幕表示／文字スーパー表示を日本語または英語 に設定してください。 2. 字幕の場合、字幕が表示される番組を視聴してください。	操作ガイド -
ダウンロードを行なったら、受信できなくなった	ダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定をやり直してください。	-
- デジタル放送やデータ放送の映像が静止したり、映らない - デジタル放送やデータ放送の選局や操作ができない	スタンバイランプが消灯してから主電源を入れ直してください。	31

USB 機器やネットワークのコンテンツの再生

このようなときは	ここをお調べください	ページ
USB 機器やネットワークのコンテンツの再生中に予約録画の開始で、テレビ画面に切り換わる	- USB 機器やネットワークのコンテンツの再生中に、予約録画の開始で、テレビ画面に切り換わります。 - 外付けUSBハードディスクへの番組録画中は、USB 機器やネットワークのコンテンツを再生できません。 - USB 機器やネットワークのコンテンツを再生中に予約録画開始時刻になると、予約録画の開始前に確認メッセージが表示されます。予約録画の継続を選択すると、USB 機器やネットワークのコンテンツの再生を終了して、以前視聴していた放送や外部入力画面に自動的に切り換わります。予約録画のキャンセルを選択すると、USB 機器やネットワークのコンテンツ再生が続けられます。	操作ガイド

HDMI 対応機器を接続中のとき

このようなときは	ここをお調べください	ページ
映像が出ない、乱れる	1. HDMI ケーブルの接続を確認してください。 2. 一部の機器では、正常に動作しないことがあります。 3. 本体および接続機器の電源を入れてください。 4. 接続機器の設定を対応信号にしてください。	20 - 20
HDMI 連動機器の操作ができない	- 推奨品ですか？ - 本機と HDMI 機器の接続方法は正しいですか？	- 20

※ 当社カスタマーサポートセンター（64ページ）へご相談の際は、必要に応じて設定内容を確認させていただきます。

エラーメッセージ

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
チャンネル		チャンネルが設定されていません。 チャンネルスキャンを行いますか？	チャンネルスキャンされていません。	地上デジタル放送の初期スキャンを実行してください。
		受信できるチャンネルが見つかりませんでした。 アンテナの接続状態を確認してください。	チャンネルスキャンで受信できるチャンネルが見つかりませんでした。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		設定内容を初期化しますか？	チャンネル登録のリモコンボタンの設定内容を初期化します。	実行することでリモコンボタンの設定内容が購入時の設定内容に初期化されます。
設定		このチャンネルは、すでに別のボタンに登録されています。変更しますか？	すでに登録されているチャンネルを別のリモコンボタンに設定しました。	登録することで、すでに登録されているチャンネルを別のリモコンボタンに設定します。
		ヘッドホンを接続している間は、音声設定メニューの設定はできません。	ヘッドホンを接続した状態で音声設定を行おうとしました。	音声設定を行うときは、ヘッドホンを外して行ってください。
受信		(E201): 降雨対応番組に切り換ええました。	信号レベルが低下したため、降雨対応番組に切換ええました。	受信状況が回復することで通常番組に自動的に戻ります。
		(E202): 信号を受信できません。 アンテナおよび受信状態をお確かめください。	信号レベルが低下しました。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		(E203): 信号レベルが低下しているか、放送が休止中です。	信号レベルが低下しているか、放送が休止中です。	他のチャンネルを選局して視聴するか、または番組表などで放送時間を確認してください。
		(E204): 該当するチャンネルがありません。 チャンネル番号を確認してください。	該当するチャンネルはありません。	他のチャンネルを選局して視聴するか、または番組表などでチャンネルを確認してください。
		(E400): データを受信できません。	データ放送の受信信号状況が悪いです。	アンテナの設定・接続およびネットワークの接続を確認してください。
B I CAS		B-CASカードが差し込まれていません。 B-CASカードを正しく差し込んでください。	B-CASカードが差し込まれていません。	B-CASカードを正しく差し込んでください。
		(XXX): このB-CASカードは使用できません。	使用できないB-CASカードが挿入されました。 ※XXXはカードステータス	付属のB-CASカードを正しく差し込んでください。
		(XXX): このB-CASカードは交換が必要です。	交換が必要なB-CASカードが挿入されました。 ※XXXはカードステータス	B-CAS社のカスタマーサポートセンターに相談してください。
		(XXX): 契約していないチャンネルです。	選局した番組は未契約です。 ※XXXはカードステータス	契約を希望するときは、該当の放送局のカスタマーサポートセンターに相談してください。
EPG		時刻の設定が必要です。 時刻の設定を行いますか？	時刻が設定されていません。	時刻の設定を確認してください。 自動になっている時は、アンテナの設定・接続を確認してください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
予約		他の予約と重複しています 以前の予約を削除して予約しますか？	他の予約と重複しています。	他の予約と重複しています。 現在の予約処理を行うか以前の予約を行なうか選択してください。
		予約数が一杯です	予約件数が最大の50件となりました。	不要な予約を削除後に予約してください。
		録画時間は2分以上で設定してください。	録画時間を2分未満に設定しました。	録画時間は2分以上で設定してください。
		録画時間は12時間を超えないように指定してください。	時間指定で、12時間を越えて予約しました。	時間指定で、12時間以内で指定してください。
		この番組は予約対象外のため、予約できません。	放送の種類がテレビ以外です。	放送の種類がテレビの番組を予約してください。
		予約に失敗しました。 しばらくしてからもう一度操作してください。	予約情報に問題が発生し復旧処理中です。	しばらくしてから、予約してください。
		開始時刻の設定が正しくありません。 設定した開始時刻を確認してください。	設定した録画時刻が間違っています。	録画設定時間を確認してください。
ハードディスク		録画用USBハードディスクを利用するには、USBハブなどを経由せずに、USB端子1に接続してください。	録画用USBハードディスクをハブに接続しました。	録画用USBハードディスクはUSB1（録・再専用）端子に直接接続してください。
		録画用USBハードディスクの初期化を行うと、以前のデータはすべて削除されます。 初期化を行いますか？	録画用USBハードディスクに問題が起きました。 初期化が必要です。	録画用USBハードディスクの接続を確認してください。 全ての録画番組を削除してもよければ、録画用USBハードディスクの初期化を行ってください。
		録画用USBハードディスクの初期化を失敗しました。	USB機器の初期化を失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。 録画用USBハードディスクに問題がある場合は、他のUSBハードディスクをご使用ください。
		初期化が必要な録画用USBハードディスクです。 録画を開始できません。	録画用USBハードディスクが初期化されていません。	録画用USBハードディスクの初期化を行ってください。
		録画用USBハードディスクの読み込みに失敗しました。 初期化しますか？	USB機器の問題で、読み込みに失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続や接続した録画用USBハードディスクをご確認ください。
		録画用USBハードディスクの初期化中です。 しばらくしてから操作してください。	USB機器の初期化中は、操作できません。	しばらくしてから操作してください。
		録画用USBハードディスクを修復しています。 しばらくしてから操作してください。	USB機器の修復中は、操作できません。	しばらくしてから操作してください。
録画		録画用USBハードディスクの修復に失敗しました。 初期化を行いますか？	USB機器の修復で失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続や接続した録画用USBハードディスクをご確認ください。
		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 修復が必要です。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続を確認してください。
		指定したファイルの削除に失敗しました。	ファイルシステムに問題が発生し、ファイル削除を失敗しました。	しばらくしてから、削除してください。
		書き込み禁止ファイルの削除はできません。	書き込み禁止ファイルを削除しようとした。	書き込み保護を解除して、削除を行ってください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
録画		録画用USBハードディスクの空き領域が不足しています。	USB機器の空き容量が不足しています。	USB機器の不要なファイルを削除してください。
		録画機能の準備中です。 しばらくしてから操作してください。	録画機能の準備中です。	しばらくしてから、行ってください
		録画用USBハードディスクを修復しています。 しばらくお待ちください。	録画用USBハードディスクの修復中です。	録画用USBハードディスクの修復には、多少の時間が掛ります。修復完了後に操作できます。
		録画用USB機器が正しく動作していません。 修復しますか？	USB機器に問題があります。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		録画用USBハードディスクに録画された番組を削除しています。 しばらくしてから操作してください。	録画用USBハードディスクに録画された番組を削除しています。	しばらくしてから操作してください。
		録画機能が正しく動作していません。	メモリー不足などのシステムエラーにより録画機能に問題が起きました。	USB機器の接続などを確認してください。 問題がなければ、テレビの電源を一度切ってから、再度入れ直してみてください。
		録画用USBハードディスクに録画中です。 録画を中止してから操作してください。	USB機器に録画中です。	録画を停止してから、行ってください。
		接続されたUSB機器は録画機能には対応していません。	対応していない録画用USBハードディスクが接続されました。 使用できる録画用USBハードディスクの最大容量は2TBまでです。	他の録画用USBハードディスクをご使用ください。
		ビデオ入力では録画できません。	ビデオ入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		コンポーネント入力では録画できません。	コンポーネント入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		HDMI入力は録画できません。	HDMI入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		RGB入力では録画できません。	RGB入力で録画操作を行いました。	テレビ入力で録画を行ってください。
		録画リストが正しく動作していません。 録画に失敗しました。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 録画を終了します。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		信号がありません。 予約録画の開始に失敗しました。	無信号です。	アンテナの設定・接続を確認してください。
		時刻設定に誤りがあります。 予約録画の開始に失敗しました。	時刻設定に誤りが発生しました。	時刻設定を確認してください。 時刻設定の手動での変更にはご注意ください。
		ワンタッチ録画の開始に失敗しました。	録画用USBハードディスクに問題があるため、ワンタッチ録画を失敗しました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		録画禁止番組です。 録画に失敗しました。	録画禁止番組を録画しようとした。	録画禁止番組は録画できません。 録画可能な番組を録画してください。
		現在、録画を中止することができません。 10秒以上経過してからもう一度操作してください。	10秒以下で録画停止を行いました。	10秒以上経過後に録画停止を行ってください。

種類	アイコン	エラーメッセージ	原因	対応
録画		録画数がいっぱいになりました。 録画リストを確認してください。		不要な録画番組を削除してから、録画してください。
		録画用USBハードディスクの空き容量が不足しています。 不要な録画番組を削除しますか？	録画用USBハードディスクの容量が不足しています。	不要な録画番組を削除してください。
		録画数がいっぱいになりました。 録画リストを確認してください。	録画された番組数が、録画可能最大数の300です。	不要な録画番組を削除してください。
再生		録画番組を再生しています。 再生を中断してから、もう一度操作してください。	録画番組の再生中はできない操作です。	録画番組の再生を停止してから操作してください。
		録画用USBハードディスクが正しく動作していません。 再生を終了します。	録画用USBハードディスクに問題が起きました。	録画用USBハードディスクの接続などを確認してください。
		USB機器が正しく動作しませんでした。 再生を終了します。	USB機器の読み込みに問題が起こり、再生を停止しました。	USB機器の接続などを確認してください。
		再生できないファイル形式です。	対応していないファイルを再生しようとしてしました。	再生する写真、動画ファイルを確認してください。
		音声をサポートしないファイル形式です。	対応していないオーディオを再生しようとしてしました。	再生するファイルを確認してください。
		この機能は、現在有効ではありません。	再生途中は操作できません。	再生中に録画などを行うことはできません。
削除		削除するファイルがありません。	削除するファイルが選択されていません。	削除するファイルを選択してください。
		再生中の録画番組は削除することはできません。	再生中の録画番組を削除しようとしてしました。	再生を停止してから削除してください。
USB		接続されたUSB機器は、USBハブを含め6台まで表示されます。 利用しないUSB機器を取り外してください。	USB機器が6個を超えて接続されました。	不要なUSB機器は外し、6個までで接続してください。
		削除に失敗しました。	USB機器の問題で削除できません。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		USB機器が正しく動作していません。	USB機器の転送速度に問題があります。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		接続されたUSB機器がありません。	USB機器が接続されていません。	USB機器を接続してください。
		USB機器が正しく動作していません。	USB機器のリードライトに問題が起きました。	USB機器の接続や接続したUSB機器をご確認ください。
		初期化が必要なUSB機器です。	初期されていないUSB機器が接続されました。	USB機器の初期化を行ってください。
ハブ		複数台のUSBハブを同時に接続することはできません。	USBハブをUSBハブに接続しました。	USBハブはUSB2 (USBハブ) 端子に1つだけ接続してください。
		USBハブを利用するには、USB端子2に接続してください。	USBハブをUSB2 (USBハブ) 端子以外に接続しました。	USBハブはUSB2 (USBハブ) 端子に接続してください。

その他

使用上のご注意

お手入れ

お手入れは、必ず本機の電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

キャビネットのお手入れ

- ・キャビネットは、シンナーなどで拭いたりしないでください。変質したり、塗料がはげたりすることがあります。
- ・汚れは柔らかい布で軽く拭きとってください。
- ・汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤にひたした布をよく絞ってから拭きとり、乾いた布で仕上げてください。

スクリーン(液晶パネル)のお手入れ

- ・本機のスクリーンの表面は、クリーニングクロスまたは柔らかい布(綿、ネルなど)で軽く乾拭きしてください。硬い布で拭くと表面に傷がつきますのでご注意ください。
- ・指紋など油脂類の汚れがひどい場合は、水にひたした布をよく絞って拭きとり、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- ・画面にホコリがついた場合は、市販の除塵用ブラシ(静電気除去ブラシ)をお使いください。

結露について

設置時や冷暖房機器などで急激に温度差の影響を受けると、本機内部で結露が発生することがあります。

そのまま使用すると故障の原因となりますので、いったん電源を切り、本機の電源プラグをコンセントから抜いて一定の温度の場所にしばらく置いてからご使用ください。

天候不良によって、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。(降雨対応放送が行われている場合) 降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

110度CSデジタル放送をご覧になるには

110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHzまたはそれ以上の周波数対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい映像でお楽しみ頂くためにも定期的に点検・交換することをおすすめします。特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

操作できなくなった場合は

本機が操作できなくなった場合は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて、1分間ほど待ってから、再度電源プラグをコンセントに入れ、リモコンで電源を入れてご確認ください。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域(470MHz~2072MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナ線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。また、アンテナの接続時にアンテナ線や分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

赤外線通信機器について

赤外線コードレスマイクや赤外線コードレスヘッドホンなどの通信機器は、通信障害により、使用できない場合があります。これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

本機に記憶される個人情報などについて

- 本機には、放送局とデータの送受信を行うために入力したお客様の個人情報が記録されます。本機を廃棄、譲渡などする場合には**初期化**（テレビ本体に内蔵の「操作ガイド」をご覧ください）を実施して、本機内のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- B-CASカードの紛失および故障などについては、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにお問い合わせください。
お問い合わせ
カスタマーサポートセンター
TEL.0570-000-250

録画・録音について

- 著作権保護のため、コピー禁止された番組は録画することができません。
- 録画・録音した番組は、個人で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。録画・録音したものを権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどに送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されていますので、ご注意ください。
なお、著作権法違反によって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いませんので、自己責任のもとでご利用ください。

画面で発生することがある有色の点について

液晶パネルは非常に精密な技術で作られています。ごくまれに（0.01%以下）、画素欠けや常時点灯する画素が発生してしまうことがあります。画面上の一部に黒い点（常に光らない画素）や輝点（常時点灯する画素）のある場合があっても、これは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクについて

- USBハードディスクは非常に精密な機器です。使用状況によっては部分的に破損して、再生映像にノイズが出たり、最悪の場合は録画や再生が全くできなくなることがあります。
- USBハードディスクには寿命があり、使用状態によっては数年で異常をきたす場合があります。USBハードディスクに録画した映像にノイズが発生しやすくなった場合は、USBハードディスクを交換してください。
- 本機では複数のUSBハードディスクを交換して使用することができますが、ひとつのUSBハードディスクを複数のテレビで使用することはできません。番組を録画したUSBハードディスクを別のテレビに取り付けて使用する場合は、初期化をしてください。
- 本機を長時間使用しないときにはUSBハードディスクの機能に支障をきたす場合があります。ときどき電源を入れて本機を使用してください。

その他の留意点について

- 万一、本機の故障や受信障害などにより、視聴および録画、録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。
- この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 地震・雷など自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- USBハードディスクの動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりすると、録画された内容がすべて消えたり、ハードディスクが故障したりすることがありますので、注意してください。
- USBハードディスクに正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器との組み合わせによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶されたお客様の登録情報やポイント情報などの一部または全てが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

デジタル放送について

BS デジタル／ 110度CS デジタルの有料放送視聴の手続きについて

BSデジタル、110度CSデジタルの有料放送サービスを受信するためには、B-CASカードの登録のほかに、個別の受信契約が必要となります。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

デジタル放送全般については

（社）デジタル放送推進協会（Dpa）のホームページをご覧ください。

<http://www.dpa.or.jp>

地上デジタルの受信相談については

デジサポ（総務省テレビ受信者支援センター）にお問い合わせください。

電話番号0570-07-0101

ホームページ：<http://digisuppo.jp>

BS デジタル放送での地上デジタル放送（セーフティネット）について

- BS291からBS298は、地上デジタル放送を通常アンテナにて視聴できない地域の視聴者へ、BSデジタルの地上デジタル再送信放送により視聴を可能としているものです。
- 視聴するには、ご視聴される方々のお住まいの場所が指定された難視聴地域であり、BS291などの案内画面に従って、視聴申請をする必要があります。

地上デジタル放送地域名表

例：

1
011
HBC 旭川

リモコンボタンの番号
受信チャンネル
放送局名

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道 (全域)	011 HBC 北海道 放送	021 NHK 教育 札幌	031 NHK 総合 札幌		051 STV 札幌 テレビ	061 HTB 北海道 テレビ	071 TVH	081 UHB				
北海道 (旭川)	011 HBC 旭川	021 NHK 教育 旭川	031 NHK 総合 旭川		051 STV 旭川	061 HTB 旭川	071 TVH 旭川	081 UHB 旭川				
北海道 (帯広)	011 HBC 帯広	021 NHK 教育 帯広	031 NHK 総合 帯広		051 STV 帯広	061 HTB 帯広	071 TVH 帯広	081 UHB 帯広				
北海道 (釧路)	011 HBC 釧路	021 NHK 教育 釧路	031 NHK 総合 釧路		051 STV 釧路	061 HTB 釧路	071 TVH 釧路	081 UHB 釧路				
北海道 (北見)	011 HBC 北見	021 NHK 教育 北見	031 NHK 総合 北見		051 STV 北見	061 HTB 北見	071 TVH 北見	081 UHB 北見				
北海道 (室蘭)	011 HBC 室蘭	021 NHK 教育 室蘭	031 NHK 総合 室蘭		051 STV 室蘭	061 HTB 室蘭	071 TVH 室蘭	081 UHB 室蘭				
北海道 (札幌)	011 HBC 札幌	021 NHK 教育 札幌	031 NHK 総合 札幌		051 STV 札幌	061 HTB 札幌	071 TVH 札幌	081 UHB 札幌				
北海道 (函館)	011 HBC 函館	021 NHK 教育 函館	031 NHK 総合 函館		051 STV 函館	061 HTB 函館	071 TVH 函館	081 UHB 函館				
東北 (青森)	011 RAB 青森放送	021 NHK 教育 青森	031 NHK 総合 青森		051 青森 朝日放送	061 ATV 青森 テレビ						
東北 (岩手)	011 NHK 総合 盛岡	021 NHK 教育 盛岡		041 テレビ 岩手	051 岩手 朝日 テレビ	061 IBC テレビ		081 めんこい テレビ				
東北 (宮城)	011 TBC テレビ	021 NHK 教育 仙台	031 NHK 総合 仙台	041 ミヤギ テレビ	051 KHB 東日本 放送			081 仙台放送				
東北 (秋田)	011 NHK 総合 秋田	021 NHK 教育 秋田		041 ABS 秋田放送	051 ABS秋田 朝日放送			081 AKT 秋田 テレビ				
東北 (山形)	011 NHK 総合 山形	021 NHK 教育 山形		041 YBC 山形放送	051 YTS 山形 テレビ	061 テレビユー 山形		081 さくらんぼ テレビ				
東北 (福島)	011 NHK 総合 福島	021 NHK 教育 福島		041 福島中央 テレビ	051 KFB 福島放送	061 テレビユー 福島		081 福島 テレビ				

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
関東 (茨城)	011	021		041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 水戸	NHK 教育 東京		日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (栃木)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京	とちぎ テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (群馬)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京	群馬 テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (埼玉)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京	テレ玉	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (千葉)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京	チバ テレビ	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
関東 (東京)	011	021		041	051	061	071	081	091			121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京		日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン	TOKYO MX			放送大学
関東 (神奈川)	011	021	031	041	051	061	071	081				121
	NHK 総合 東京	NHK 教育 東京	tvk	日本 テレビ	テレビ 朝日	TBS	テレビ 東京	フジ テレビジョン				放送大学
甲信越 (新潟)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 新潟	NHK 教育 新潟		TeNY テレビ 新潟	新潟 テレビ21	BSN		NST				
甲信越 (山梨)	011	021		041		061						
	NHK 総合 甲府	NHK 教育 甲府		YBS 山梨放送		UTY						
甲信越 (長野)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 長野	NHK 教育 長野		テレビ 信州	abn長野 朝日放送	SBC 信越放送		NBS 長野放送				
中部 (富山)	011	021	031			061		081				
	KNB 北日本 放送	NHK 教育 富山	NHK 総合 富山			チューリップ テレビ		BBT 富山 テレビ				
中部 (石川)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 金沢	NHK 教育 金沢		テレビ 金沢	北陸 朝日放送	MRO		石川 テレビ				
中部 (福井)	011	021					071	081				
	NHK 総合 福井	NHK 教育 福井					FBC テレビ	福井 テレビ				
中部 (岐阜)	011	021	031	041	051	061		081				
	東海 テレビ	NHK 教育 名古屋	NHK 総合 岐阜	中京 テレビ	CBC	メ〜テレ		岐阜 テレビ				
中部 (静岡)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 静岡	NHK 教育 静岡		静岡第一 テレビ	静岡朝日 テレビ	SBS		テレビ 静岡				
中部 (愛知)	011	021	031	041	051	061				101		
	東海 テレビ	NHK 教育 名古屋	NHK 総合 名古屋	中京 テレビ	CBC	メ〜テレ				テレビ 愛知		

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
中部 (三重)	011	021	031	041	051	061	071					
	東海 テレビ	NHK 教育 名古屋	NHK 総合・津	中京 テレビ	CBC	メ〜テレ	三重 テレビ					
近畿 (滋賀)	011	021	031	041		061		081		101		
	NHK 総合 大津	NHK 教育 大阪	BBC びわこ 放送	MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿 (京都)	011	021		041	051	061		081		101		
	NHK 総合 京都	NHK 教育 大阪		MBS 毎日放送	KBS 京都	ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿 (大阪)	011	021		041		061	071	081		101		
	NHK 総合 大阪	NHK 教育 大阪		MBS 毎日放送		ABC テレビ	テレビ 大阪	関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿 (兵庫)	011	021	031	041		061		081		101		
	NHK 総合 神戸	NHK 教育 大阪	サン テレビ	MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
近畿 (奈良)	011	021		041		061		081	091	101		
	NHK 総合 奈良	NHK 教育 大阪		MBS 毎日放送		ABC テレビ		関西 テレビ	奈良 テレビ	読売 テレビ		
近畿 (和歌山)	011	021		041	051	061		081		101		
	NHK 教育 和歌山	NHK 教育 大阪		MBS 毎日放送	テレビ 和歌山	ABC テレビ		関西 テレビ		読売 テレビ		
中国 (鳥取)	011	021	031			061		081				
	日本海 テレビ	NHK 教育 鳥取	NHK 総合 鳥取			BSS テレビ		山陰 中央 テレビ				
中国 (島根)	011	021	031			061		081				
	日本海 テレビ	NHK 教育 松江	NHK 総合 松江			BSS テレビ		山陰中央 テレビ				
中国 (岡山)	011	021		041	051	061	071	081				
	NHK 総合 岡山	NHK 教育 岡山		RNC 西日本 テレビ	KSB 瀬戸内海 放送	RSK テレビ	テレビ せとうち	OHK テレビ				
中国 (広島)	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合 広島	NHK 教育 広島	RCC テレビ	広島 テレビ	広島 ホーム テレビ			TSS				
中国 (山口)	011	021	031	041	051							
	NHK 総合 山口	NHK 教育 山口	tys テレビ 山口	KRY 山口放送	yab 山口朝日							
四国 (徳島)	011	021	031									
	四国放送	NHK 教育 徳島	NHK 総合 徳島									
四国 (香川)	011	021		041	051	061	071	081				
	NHK 総合 高松	NHK 教育 高松		RNC 西日本 テレビ	KSB 瀬戸内海 放送	RSK テレビ	テレビ せとうち	OHK テレビ				
四国 (愛媛)	011	021		041	051	061		081				
	NHK 総合 松山	NHK 教育 松山		南海放送	愛媛朝日	あい テレビ		テレビ 愛媛				
四国 (高知)	011	021		041		061		081				
	NHK 総合 高知	NHK 教育 高知		高知放送		テレビ 高知		さんさん テレビ				

都道府県	リモコンボタン											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
九州 沖縄 (福岡)	011	021	031	041	051		071	081	021、031は、NHK 教育・北九州、NHK 総合・北九州が設定されることがあります。			
	KBC九州朝日放送	NHK 教育福岡	NHK 総合福岡	RKB 毎日放送	FBS 福岡放送		TVQ 九州放送	TNC テレビ西日本				
九州 沖縄 (佐賀)	011	021	031									
	NHK 総合佐賀	NHK 教育佐賀	STS サガテレビ									
九州 沖縄 (長崎)	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合長崎	NHK 教育長崎	NBC 長崎放送	NIB 長崎国際テレビ	NCC 長崎文化放送			KTN テレビ長崎				
九州 沖縄 (熊本)	011	021	031	041	051			081				
	NHK 総合熊本	NHK 教育熊本	RKK 熊本放送	KKT くまもと県民	KAB 熊本朝日放送			TKU テレビ熊本				
九州 沖縄 (大分)	011	021	031	041	051							
	NHK 総合大分	NHK 教育大分	OBS 大分放送	TOS テレビ大分	OAB 大分朝日放送							
九州 沖縄 (宮崎)	011	021	031			061						
	NHK 総合宮崎	NHK 教育宮崎	UMK テレビ宮崎			MRT 宮崎放送						
九州 沖縄 (鹿児島)	011	021	031	041	051			081				
	MBC 南日本放送	NHK 教育鹿児島	NHK 総合鹿児島	KYT 鹿児島読売TV	KKB 鹿児島放送			KTS 鹿児島テレビ				
九州 沖縄 (沖縄)	011	021	031		051			081				
	NHK 総合那覇	NHK 教育那覇	RBC テレビ		QAB 琉球朝日放送			沖縄テレビ(OTV)				

仕様

形名	23MT55J	
受信機型サイズ	23V	
液晶画面	画面タイプ	58 cm ワイド TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) パネル 表示領域の対角線サイズ：58 cm
	ピクセルピッチ	0.027 cm (H) x 0.027 cm (V)
映像信号	最大解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
	推奨解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz
	水平周波数	30 kHz - 83 kHz
	垂直周波数	56 Hz - 62 Hz
	同期方法	セパレート同期、デジタル
入力コネクタ		テレビ、D-Sub アナログ、PC オーディオ入力、 コンポーネント、CVBS、HDMI x 3、USB x 2、LAN
電源	定格電圧	19 V --- 2.5 A
	消費電力	オンモード：36 W (標準) オフモード：0.4 W
	年間消費電力 (注 1)	56 kWh/年
区分名 (注 2)		DC1
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)	スタンド付き	54.4 cm x 43.7 cm x 18.8 cm
	スタンドなし	54.4 cm x 33.5 cm x 6.6 cm
質量	スタンド付き	3.5 kg
	スタンドなし	3.2 kg
環境条件	動作温度	10 °C - 35 °C
	動作湿度	20 % - 80 %
	保管温度	-10 °C - 60 °C
	保管湿度	5 % - 90 %

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

(注 1) 年間消費電力量は省エネルギー法に準拠して、一般家庭での平均視聴時間 (約 4.5 時間/日) を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

(注 2) 区分名とは、「エネルギーの使用の合理化に関する法律 (省エネ法)」では、テレビに使用される画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称を言います。

登録商標



- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
ACCESS ロゴ、NetFrontは、日本国、米国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
© 2010 ACCESS CO.,LTD.All rights reserved.
本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。



- 本製品には、日本電気株式会社のFONT『FontAvenue』を使用しています。

INSPIRIUM

- 本製品には、富士通株式会社の『Inspirium DRM ライブラリ For Marlin 3.0』を使用しています。



- アクトビラロゴマーク、およびacTVila、アクトビラは(株)アクトビラの商標または登録商標です。



- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴはアメリカおよびその他の国におけるHDMI Licensing, LLCの登録商標または商標です。



- DLNA® DLNA ロゴおよびDLNA CERTIFIED®はDigital Living Network Allianceの商標、サービスマーク、保証マークです。



- DivX ビデオについて：DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivX ビデオ再生に対応した正規のDivX Certified® (DivX 認証) デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
- DivX ビデオオンデマンドについて：DivX ビデオオンデマンド (VOD) コンテンツを再生するには、このDivX Certified® (DivX 認証) デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VOD セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
- プレミアムコンテンツを含む最高HD 1080pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified® (DivX 認証) 取得済み。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- 次の1つ以上の米国特許により保護されています：7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274



- アメリカ特許5,451,942；5,956,674；5,974,380；5,978,762；6,487,535およびアメリカ以外の国ですでに発給、または申請状態の特許をベースに製造されました。
DTSのロゴと、そのシンボルはDTSの登録商標です。
著作権および著作権はDTS, Inc.の所有です。

オープンソースソフトウェアの通知

GPL、LGPL、MPL 及び、その他のオープンソースライセンスで開発されたソースコードの入手は<http://opensource.lge.com/>のWEBサイトをご覧ください。GPL、LGPL、MPL 及び、その他のライセンス内容は、ソースコードと共にダウンロードすることができます。

また、弊社はお客様のご負担（メディア代、送料や手数料など）にてCD-ROMでオープンソースコードを提供しています。Eメールにて次のアドレスへCD-ROMをお申し込みください：opensource@lge.com
このお申し込みは本製品をご購入後3年以内にかぎり有効となっておりますのでご注意ください。

保証とアフターサービス

修理の受付・操作・故障に関するお問い合わせ窓口

LG Electronics Japan (株) カスタマーサポートセンター



(フリー・ダイヤル)

0120-813-023

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

IP電話などからフリーダイヤルがご利用いただけない場合は TEL:03-5675-7323までご連絡ください。

お客様からご提供いただいた個人情報はお問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。利用目的の範囲内で当該製品に関連するグループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。お客様の個人情報は適切に管理し、当社が必要と判断する期間保存させていただきます。

受付時間 平日 :9:00~20:00 (年末年始など当社指定日を除く)
土日・祝祭日 :9:00~18:00

修理に関するご案内

取扱説明書を再確認していただき、なお異常があるときは、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、当社カスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。

■ 保証期間中

保証書の規定に従って、当社サービスセンターが修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎている時

修理すれば使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理ご依頼の際にご連絡いただきたい内容

- ・ご住所、お名前、電話番号
 - ・製品名、モデル名、製造番号
 - ・お買い上げ日、ご購入店名
 - ・故障の状況
- できるだけ具体的に

■ 保証書(別添)について

ご購入の際は、ご購入の年月日、販売店名などの所定事項が記入されていることをお確かめの上、大切に保管してください。製造番号は安全確保上重要なものです。商品本体の製造番号と保証書記載の製造番号が一致しているか確かめください。保証期間は保証書に記載されています。

■ 部品について

本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年間です。修理のために交換、取り外した部品は当社で引き取らせていただきます。また、修理の際に当社の品質技術基準に適合した再利用部品を使用することがあります。あらかじめ、ご了承ください。

■ ご注意

保証期間中に正常な使用状態で故障した場合は無料修理させていただきますが、保証書の提示がない場合や、一般家庭外(たとえば業務用)で使用したことによる故障修理は有料修理となります。詳しくは保証書記載の[無料修理規定]をご確認ください。

修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
発火したり、異常動作してけがをすることがあります。(故障時は有償になります。)



愛情点検

このようなことはありませんか？

――長年ご使用のテレビの点検をぜひ！――

- 電源スイッチを入れても映像や音が出ない。
- 上下、または左右の映像が欠けて映る。映像が時々、消えることがある。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物が入った。

このような場合はご使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いて当社カスタマーサポートセンターにご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。



LG Electronics Japan 株式会社

〒107-8512 東京都港区赤坂2-17-22
赤坂ツインタワー本館9階



製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。
取扱説明書 (CD) は後で参照できるようにわかりやすい場所に保管してください。
製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。保守が必要になった場合に備えて下記にご記入ください。

型名

製造番号
